

市 民 交 流 課

○ 市民交流関係

1 市民活動促進事業

平成 16 年 4 月にいせ市民活動センターを開設し、同年 7 月から、指定管理者制度を導入して公設民営により運営している。

- ・指定管理者 特定非営利活動法人いせコンビニネット
- ・指定管理料 15,300,000 円（年額）
- ・指定管理期間 令和 4 年 4 月 1 日～令和 6 年 3 月 31 日（2 年間）

(1) いせ市民活動センター運営業務

- ・市民活動の活性化を図るため、市民活動に関する各種相談に対応した。（相談件数 66 件）。また、登録団体からの要望を受け、Zoom 利用のための講習会を実施した。（参加者 7 人）
- ・市民活動に関する情報を、センター内に設置する情報コーナーや、ホームページ、SNS、情報誌「パーティ」（年 3 回発行）など様々な媒体を通じて発信した。
- ・市民活動を促進させるため、様々な市民団体等が交流・情報交換する機会を提供した。

開催日	内 容	参加状況
5. 7. 9	ダンスワールド in 伊勢	11 団体
	チャリティーコンサート「第 28 回ミュージックコミュニケーション」	70 人
5. 8. 20	登録団体交流会(オンラインでの交流会)	6 団体
5. 9. 16	防災講座	9 団体
5.12.24	チャリティーコンサート「第 29 回ミュージックコミュニケーション」	70 人
6. 3. 23	第 12 回いせ市民活動フェスティバル	41 団体

(2) いせ市民活動センター管理業務

施設利用の登録、使用許可、施設・設備及び機器の維持管理を行った。

(施設稼働状況)

	北 館				利用者数	南 館	
	平 均 稼 働 率					平均稼働率	利用者数
	多目的ホール	A 会議室	B 会議室	1 F ホール			
31. 4. 1 ～ 2. 3. 31	% 30.5	% 42.6	% 52.8	% 29.3	人 32,232	% 17.7	人 13,641
2. 4. 1 ～ 3. 3. 31	21.5	39.7	40.3	29.5	17,784	15.5	5,942

3. 4. 1 ～ 4. 3. 31	% 27.6	% 36.6	% 30.3	% 21.2	人 18,493	% 15.2	人 5,533
4. 4. 1 ～ 5. 3. 31	30.2	41.5	37.1	22.6	20,352	19.0	8,801
5. 4. 1 ～ 6. 3. 31	26.0	40.8	40.9	30.7	24,796	19.1	9,501

平均稼働率・・・稼働実績時間数/[稼働可能時間(11時間)×稼働可能日数]×100

(登録団体数)

基準日	2. 3. 31	3. 3. 31	4. 3. 31	5. 3. 31	6. 3. 31
登録団体数	179	180	174	169	167

(3) 修繕関係

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
岩淵1丁目地	いせ市民活動センター受電設備改修工事	受電設備改修一式	円 1,287,000	5. 5. 15	5. 8. 10
〃	いせ市民活動センター受電設備改修(その2)工事	受電設備改修一式	348,700	6. 1. 23	6. 3. 29
計	2件	—	1,635,700	—	—

その他 いせ市民活動センター北館2階女子トイレ大便器給水管漏水修繕工事 55,000円

(4) 市民公益活動促進委員会

いせ市民活動センターの施設運営にとどまらず、広く市の市民公益活動について有識者による市民公益活動促進について調査審議した。

開催日	主な内容	備考
5. 7. 26	・令和4年度いせ市民活動センターの管理運営状況について ・市の取組(地域を支える人材の確保)、いせ市民活動センターの場所選定について	オンライン開催
6. 2. 19	・令和5年度いせ市民活動センターの管理運営状況中間報告について ・能登半島地震にかかる被災地支援についての情報共有	オンライン開催

2 伊勢のまつり開催事業

市民が「見て」、「参加して」楽しめる行事として、団体の代表者等64人からなる実行委員会により企画・運営を行った。

日時	令和5年10月7日(土) 午前9時40分～午後9時 令和5年10月8日(日) 午前9時40分～午後5時
場所	県道鳥羽松阪線(宮町交差点)～伊勢市駅周辺
内容	・幼稚園児のマーチング、小学生の鼓笛等のパレード、お木曳車の運行 ・ねぶた飾り車の運行、楽器演奏、よさこい、ダンス等のパフォーマンス ・東京ディズニーリゾート®40周年スペシャルパレード ・市内団体、事業者を中心とした展示、販売ブース

来場者数	17万人 7日：9万人 8日：8万人 うちディズニーパレード来場者数6万人
参加者	・パレード 延べ20団体 約2,400人 ・イベント 延べ34団体 約940人 (8日イベント 雨天キャンセル5団体 約200人)
広報	・ポスター1,000枚 パンフレット 20,000部 作成 ・伊勢市公式HP、SNS、広報いせ及び行政チャンネルにて情報発信

3 伊勢市矢持会館管理事業

農林漁業体験実習館を、平成23年4月1日から名称を変更し、指定管理者制度を導入して公設民営の集会施設として運営している。地域住民のふれあいの場に供し、交流活動を通じた地域づくりの推進を図っている。

指定管理者	矢持町下村区
指定管理料	250,000円(年額)
指定管理期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日(5年間)
利用者数	868人(令和5年度)

○ コミュニティセンター関係

1 地区コミュニティセンター維持管理

地域社会づくりを推進するための地域活動の場に供するとともに、市民の生活文化の向上及び福祉の増進を図るため、地区コミュニティセンターを設置している。地域活動のための場として地域住民が貸室及び図書分室を利用している。

コミュニティセンター使用状況

(1) 神社地区コミュニティセンター(みなとふれあいセンターに併設)

図書貸出状況	
貸出人数	貸出冊数
584人	1,326冊

(2) 大湊地区コミュニティセンター

会議室利用状況				図書貸出状況	
会議室1	会議室2	計	利用人数	貸出人数	貸出冊数
22件	7件	29件	381人	1,512人	2,808冊

(3) 浜郷地区コミュニティセンター

会議室利用状況				図書貸出状況	
会議室1	会議室2	計	利用人数	貸出人数	貸出冊数
169件	3件	172件	2,072人	721人	1,746冊

(4) 宮本地区コミュニティセンター

会議室利用状況				図書貸出状況	
会議室 1	会議室 2	計	利用人数	貸出人数	貸出冊数
110 件	85 件	195 件	2,109 人	240 人	489 冊

(5) 豊浜地区コミュニティセンター

会議室利用状況				図書貸出状況	
会議室 1	会議室 2	計	利用人数	貸出人数	貸出冊数
86 件	24 件	110 件	898 人	201 人	386 冊

(6) 北浜地区コミュニティセンター

会議室利用状況				図書貸出状況	
会議室 1	会議室 2	計	利用人数	貸出人数	貸出冊数
182 件	22 件	204 件	2,106 人	206 人	420 冊

(7) 城田地区コミュニティセンター

会議室利用状況				図書貸出状況	
会議室 1	会議室 2	計	利用人数	貸出人数	貸出冊数
131 件	38 件	169 件	2,203 人	259 人	530 冊

(8) 沼木地区コミュニティセンター・伊勢市沼木農村環境改善センター

会議室利用状況				図書貸出状況	
会議室	生活研修室	計	利用人数	貸出人数	貸出冊数
23 件	29 件	52 件	581 人	164 人	337 冊

2 工事関係

(1) 工事

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
前山町内	宮本支所空調機取替工事	空調機取替一式	1,078,000 円	5. 5. 2	5. 6. 15
村松町内	(注) 北浜支所空調機取替工事	空調機取替一式	2,387,000	5. 5. 12	5. 6. 20
黒瀬町内	(注) 浜郷支所空調機取替工事	空調機取替一式	2,385,900	5. 12. 1	6. 1. 12
計	3 件	—	5,850,900	—	—

その他 北浜支所玄関手摺り設置工事 外 1 件 117,700 円

(注) 営繕課施行

(2) 修繕

宮本支所 1 階男子トイレ換気扇取替修繕 外 20 件 1,005,125 円

○ 国際交流事業関係

市民ボランティア及び外国籍を持つ人々と「ともに暮らす国際交流のまちづくり」を推進した。

1 在住外国人への支援

(1) 外国人をサポートするための避難所運営訓練事業

大規模災害発生時の外国人への支援を円滑に行うため、外国人を対象とした防災説明会と、避難所の受入に対する運営側の研修を実施した。

開催日	内容	参加人数	開催場所
5. 11. 12	外国人住民防災説明会	50 人	防災センター 防災研修室 1
6. 2. 3	避難所運営訓練	23	防災センター 防災研修室 1

(2) 三重県市町多文化共生ワーキングへの参加

外国人の定住化が顕著になる中、各市町と県内の在住外国人と共生する施策を考えるための多文化共生ワーキングが三重県により開催され、計6回参加した。

2 伊勢市国際交流協会との協働

会員数 個人会員 72 人、企業・団体会員 4 団体（令和 6 年 3 月末）

市民の国際交流を促進するとともに、在住外国人への支援を通じ、伊勢市での国際相互理解を深めることに寄与することを目的として活動する伊勢市国際交流協会と協働し、国際交流・多文化共生に関する事業を推進した。

(1) 在住外国人のための日本語教室

開催日 毎週火曜日 10:00~11:30 46 回開催
毎週木曜日 19:00~20:30 45 回開催
毎週日曜日 10:00~11:30 42 回開催

場 所 いせ市民活動センター南館 2 階

参加人数 学習支援ボランティア（協会会員） 延べ 1,540 人
学習者（外国人） 延べ 1,328 人

(2) 在住外国人のための日本語教室（オンライン）

開催日 令和 5 年 4 月～令和 6 年 3 月 随時（81 回開催）

実施方法 オンライン会議ツール（Zoom）

参加人数 学習支援ボランティア（協会会員） 延べ 91 人
学習者（外国人） 延べ 102 人

(3) 外国人への日本語学習支援者養成講座

開催日 令和 5 年 7 月 22 日（土）、7 月 29 日（土）、8 月 5 日（土）

場 所 いせ市民活動センター 南館 2 階（7 月 22 日、7 月 29 日）
北館 1 階ホール（8 月 5 日）

講 師 松岡 知津子 さん

参加人数 延べ 77 人（うち 17 人はオンライン会議上での参加）

(4) いせ国際交流日本語スピーチ大会

主に市内及び周辺地域に暮らす在住外国人に、国際交流・多文化共生について日本語発表する機会を提供するとともに、一般観覧者を募集し、市民の異文化理解と国際感覚の醸成を促進した。

開催日 令和5年11月25日(土)

場所 シンフォニアテクノロジー響ホール伊勢

参加人数 14人(ベトナム4、中国3、フィリピン3、ブラジル1、スリランカ1、ドイツ1、ネパール1)

観覧人数 65人

テーマ 日本に住んで感じていること・考えたこと

最優秀賞 モンサルベ ロセット バラナイさん(フィリピン)
タイトル「これとこれとこれで、以上です」

(5) 外国語講座

初心者向けベトナム語講座

開催日 令和5年11月11日(土)、12月2日(土)、12月9日(土)、
12月16日(土)、12月23日(土)

場所 御薗公民館 学習室

講師 富岡・キム・アイン さん

参加人数 12人

(6) 世界の料理教室 ～トリニダード・トバゴ編～(オール・イングリッシュ)

開催日 令和5年10月28日(土)

講師 モハメド・サフィヤさん

場所 ハートプラザみその 栄養指導室

参加人数 14人

(7) 世界の料理パーティ ～中国編～

開催日 令和6年3月2日(土)

講師 侯 霄強さん

場所 ハートプラザみその 栄養指導室

参加人数 22人

(8) 「伊勢」と日本スタディプログラム参加留学生との交流

伊勢市と皇學館大学の共同事業に国際交流協会として参画し、留学生と協会員との交流事業を実施した。

開催日 令和6年2月24日(土)

内容 和菓子作り体験、伊勢シーパラダイス見学

参加人数 18人(留学生13人、協会員5人)

3 国際交流推進事業

市内高校生が異文化交流・国際交流活動を始める契機として、日本と異なる文化を体験する事業を実施した。

開催日	内容	参加人数	開催場所
5. 6. 11	RENCONTRES FRANCOPHONES ～フランス：ネイティブの異文化トーク！～	高校生 11人 外国人講師 1	伊勢市役所 東館 4-2 会議室
5. 10. 29	いせ日本語教室学習者とのゲーム交流会	高校生 5 外国人 9	伊勢市役所 東館 5-3 会議室
6. 3. 26	外国の方との書道交流会	高校生 8 外国人 5	生涯学習センター いせトピア 1階 絵画室

○ 災害ボランティアセンター関係

1 災害ボランティア支援事業

平成 24 年 1 月に締結した「伊勢市災害ボランティアセンターの設置と運営等に関する協定」に基づき、社会福祉協議会と協働で、伊勢市災害ボランティアセンターを運営した。災害時以外も常時開設し、各種研修事業を実施したほか、災害時に備えた関係団体・機関等との協力支援体制構築に取り組んだ。

会議・研修

開催日	内容	参加人数	開催場所
5. 7. 14	伊勢市災害ボランティアセンター連絡会	18 人	防災センター
5. 8. 25	伊勢市災害ボランティアセンター運営者 専門研修会	15	防災センター
5. 8. 25	伊勢市災害ボランティア入門講座	16	防災センター
5. 12. 9	技術系災害ボランティア養成研修	16	旧神社小学校

※令和 6 年 1 月 25 日に企画していた災害ボランティアセンター運営訓練は、能登半島沖地震を考慮し、令和 5 年度の開催を中止とした。

○ 男女共同参画関係

1 男女共同参画に関する啓発記事の掲載

男女共同参画に関する意識啓発のため、「広報いせ」を活用し、公募市民の企画編集による啓発記事「めざそや！共同参画」を 3 回掲載した。また、男女共同参画に関するロールモデルへのインタビュー記事「伊勢の輝くひと」を掲載した。

発行日	内 容
7月1日号	めぞそや！共同参画「避難所に男女共同参画の視点を」
10月15日号	めぞそや！共同参画「誰もが安心できる避難所に」
11月1日号	伊勢の輝くひと 中川 亜沙美氏（AC FARM 代表）
2月15日号	めぞそや！共同参画「まずは一歩踏み出そう 防災も男女共同参画も」

2 男女共同参画推進事業

「伊勢市男女共同参画都市宣言」「伊勢市男女共同参画推進条例」の理念を広く市民に周知するとともに、「第4次伊勢市男女共同参画基本計画」の実現に向け、各種の取組を行った。主に市民向けの啓発事業の企画運営は、市民団体「NPO男女共同参画れいんぼう伊勢」に委託した。

(1) パートナーの日の啓発

男女がお互いを思いやる日として条例で定めた「パートナーの日（8月17日）」を広く市民に周知するため、啓発事業を実施した。

ア 市庁舎における啓発

令和5年8月3日から17日まで、市役所本館において懸垂幕を掲揚するとともに、本館1階市民ホールにおけるパネル展示により、来庁者へ啓発を行った。

イ CATVによる啓発

令和5年8月1日から15日まで、CATVナレーション放送による周知を行った。

ウ 講演会

- ・開催日 令和5年8月5日（土）
- ・場 所 ハートプラザみその 多目的ホール
- ・講 師 村尾 信尚氏（関西学院大学教授、「NEWS ZERO」元メインキャスター）
- ・テ ー マ 「ニュース報道の現場で感じたこと～女性の活躍が現場を支える～」
- ・参加人数 177人

(2) 三重県内男女共同参画連携映画祭の開催

男女共同参画に関する機運の醸成や意識啓発を効果的に行うことを目的に、毎年、男女共同参画週間を中心に開催している。令和5年度は、本市を含めた県内18会場で開催した。

開催日	内 容	参加人数	開催場所
5. 6. 11	映画「そして、バトンは渡された」上映会	218人	ハートプラザ みその 多目的ホール

(3) その他男女共同参画に関する啓発

開催日	内 容	参加人数	開催場所
5. 4. 20～ 5. 6. 30	第3回男女共同参画川柳 (テーマ) パートナーの日	87人 (220句)	—

5. 6. 23～ 5. 6. 29	男女共同参画週間におけるパネル展示等	—	伊勢市役所 本館 1 階 市民ホール
5. 10. 15	LGBT 勉強会 (テーマ) 多様な性 親の願い (講師) 浦狩 知子氏	会場 18 人 オンライン 3	御薊公民館 2 階 講堂
5. 10. 29	おばた参宮市&企業展におけるパネル展示等	—	小俣農村環境改善センター
5. 11. 10～ 5. 11. 24	「女性に対する暴力をなくす運動」に関する パネル展示等	—	伊勢市役所 本館 1 階 市民ホール
5. 12. 9	料理教室 (農林水産課、三重県水産物消費拡大 促進委員会と連携) (テーマ) パパやじいじと作ろう! 飾り巻き寿司 (講師) 白井 孝子氏	24 (12 組)	生涯学習センター いせトピア 2 階 調理室
6. 3. 20	親子であそぼう! れいんぼうフェスタ (テーマ) 親子で楽しむワーク・ライフ・ バランス	200 (こども 120)	厚生中学校 けやきホール

3 男女共同参画審議会の開催

男女共同参画に関する施策の実施状況等に対して意見を徴するため開催した。

開催日	内 容	出席委員数
5. 7. 24	・令和4年度実施状況報告書 (案) について ・男女共同参画推進事業者等表彰選考委員会の設置について	14/16 人
6. 1. 25	・令和5年度実施状況報告書 (案) について ・男女共同参画推進事業者等表彰について (報告)	12/16

4 企業に向けた啓発

企業における男女共同参画の推進のため、企業訪問を実施した。また、事業者等における男女共同参画の取組を促進するため、積極的に取り組んでいる事業者等を表彰した。表彰制度の周知については、皇學館大学の学生と連携して行った。

(1) 企業訪問

実施日	訪問先	内 容
5. 10. 24 ～ 5. 11. 6	株式会社 アイブレーション 他11社	働きやすい職場づくり、女性管理職登用等の啓発

(2) 男女共同参画推進事業者等の表彰

- ・女性の活躍推進「きらり」賞 該当事業者なし (応募事業者 なし)
- ・仕事と生活の調和実践賞 株式会社 ミタス伊勢 (応募事業者 2社)
- ・特別賞 パセプション

5 女性活躍推進事業

女性のためのICTスキルUP実践講座2023の開催

働く女性や就職を考えている女性を対象に、オンラインでの就業や業務の効率化に必要なデジタルスキルを身につけることによる女性の就労やキャリアアップ支援を目的としたセミナー（全3回）をオンラインで開催した。また、企業関係者の傍聴を可能とした。

講師 株式会社Eプレゼンス 代表取締役 川北 睦子氏

開催日	テーマ	参加人数	傍聴者数
5.11.12	オリエンテーション デジタルツール活用初級	13人	3人
5.11.26	Googleドキュメント Googleドライブ活用	17	1
5.12.10	オンラインツール活用（画像・チラシ制作）	12	1

6 DV等被害者にかかる事務

（申出件数）

内容	新規	解除	変更	継続
件数	16件	13件	12件	25件

7 出会い・結婚支援事業

平成27年10月にオープンした「いせ出会い支援センター」を拠点に、結婚を望む本人や家族からの相談対応、出会いの場となる婚活イベントの開催及び情報提供を行い、結婚を希望する人が結婚できる地域社会の実現を目指した。

（1）センターの事業内容

ア 業務委託

委託業務名	委託期間	委託金額	委託業者
いせ出会い支援センター運営にかかる業務委託	自 5. 4. 1 至 6. 3. 31	円 9,683,300	株式会社デルタスタジオ

イ 利用者件数

性別	来所	電話	メール	相談	チラシ	計
男性	661件	217件	226件	198件	852件	
女性	630	105	107	103		
計	1,291	322	333	301	852	3,099

ウ 婚活イベントの開催

市内又は近隣市町に在住・在勤している独身男女及び伊勢市に興味のある独身男女を対象に、出会いイベントを開催した。

開催日	内 容	参加人数	開催場所
5. 6. 25	「夏の出会い応援交流会」 第1部 25歳～32歳、第2部 33歳～40歳の2部制 1対1トークタイム、投票等	42人	県営サンアリーナ レセプションルーム
5. 9. 24	「秋の出会い応援交流会」 第1部 25歳～34歳、第2部 35歳～44歳の2部制 1対1トークタイム、投票等	38	いせ市民活動センター 北館1階ホール
6. 1. 21	「冬の出会い応援交流会」 25歳～35歳 1対1トークタイム、投票等	21	県営サンアリーナ レセプションルーム

エ 恋活マッチングサポート

利用者が登録プロフィールを閲覧し、趣味や結婚観、休日の過ごし方等価値観が合う方と顔合わせを行うことをサポートし、出会いの機会を提供した。

- ・登録者数 81人
- ・閲覧者数 126人
- ・引き合わせ数 35組

(2) 企業の結婚支援促進事業

市内及び定住自立圏域内市町に事業所を置く企業に、従業員の結婚を応援し、働きやすい職場環境づくりに取り組んでいただくよう、いせ若者応援ネットワーク「いせむすび」への登録を促進した。

登録企業数 210社（6.3.31現在）

(3) 希望を叶えるライフプラン講義の開催

皇學館大学の協力もと、大学生が伊勢志摩地域で仕事、結婚、子育ての希望を叶える地域づくりの必要性について講義を行った。

- ・開催日 令和5年10月27日（金）
- ・場 所 皇學館大学
- ・講 師 株式会社 デルタスタジオ 代表取締役 若林 辰也氏
- ・参加人数 大学生76人
- ・内 容 伊勢志摩定住自立圏共生学Ⅱ

【第一部】 少子化の進行、未婚化・晩婚化、独身者を取り巻く環境・状況

【第二部】 いせ出会い支援センターの取り組み、自身の希望が叶うライフプランづくり、働きたい会社、働き続けられる会社とは

(4) 伊勢市版婚姻届等の提供

少子化対策及びシティプロモーションの一環として、株式会社リクルートの専用サイト上で地域の生活情報や観光情報の発信及び伊勢市独自の婚姻届・出生届をダウンロードできるようにし、結婚・出産のイメージアップを図った。

- ・ダウンロード数
婚姻届 697 件
出生届 101 件

○ 自治会関係

1 区長謝礼事業

市内 175 自治会の活動について、行政委員等の候補者推薦業務等、依頼事項に対する謝礼を交付した。

報償費総額 7,460,000 円

2 自治会活動補助事業

(1) 地区振興助成金事業

市内 54 の地区の円滑な運営と健全な自治会活動を推進するため、助成金を交付した。

	自治会数	対象世帯数	地区振興助成金		
			平等割	世帯割	計
	自治会	世帯	円	円	円
本庁管内	10	1,494	500,000	522,900	1,022,900
支所管内	15	3,364	750,000	1,177,400	1,927,400
小俣総合支所管内	29	8,820	1,450,000	3,087,000	4,537,000
計	54	13,678	2,700,000	4,787,300	7,487,300

(2) 元気なまちづくり協働事業

市と自治会が協働して地域社会の活性化を図るため、自治会が各地域において主体的に取り組む事業に対して、補助金を交付した。

- ・対象自治会数 54 自治会
- ・交付自治会数 35 自治会
- ・交付金額 1,623,000 円
- ・対象事業

事業区分	件数
ア 地域に根ざした伝統文化の継承事業	4 件
イ 地域の特性を生かした地域おこし事業	2
ウ 地域内の清掃美化等の環境保全事業	21
エ 補導や啓発、巡視活動等の青少年育成事業	3
オ 訓練や啓発、巡視活動等の防犯・防災事業	3

カ 少子高齢化社会対策やバリアフリー社会実現のための社会福祉事業	2 件
キ 住民の交流を通じ、地域コミュニティを活性化するための地域交流事業	42
ク その他市長が特に必要と認める事業	0
計	77

(3) 広報紙配布等事業

市の広報紙等の配布事業等を行う自治会に対して、交付金を交付した。

- ・ 交付自治会数 54 自治会
- ・ 交付金額 27,020,400 円

3 コミュニティ助成事業

(一財) 自治総合センターが、宝くじの社会貢献広報事業費として受け入れる受託事業収入を財源とした事業で、コミュニティ活動の健全育成を図り、コミュニティ組織である自治会等にコミュニティ助成事業補助金を交付した。

団体名	補助金額	事業名
黒瀬町中崎自治会	1,200,000 円	テーブル他コミュニティ活動備品の整備
西区自治会	2,200,000	デジタルフルカラー複合機他コミュニティ活動備品の整備
小木町	2,500,000	テーブル他コミュニティ活動備品の整備
東豊浜町西条自治会	2,100,000	テント他コミュニティ活動備品の整備
黒瀬町自治会	2,400,000	テント他コミュニティ活動備品の整備
常磐西世古町内会	12,700,000	コミュニティセンターの建設と備品の整備
沼木まちづくり協議会	2,000,000	防災備品の整備
計	25,100,000	

4 自治会集会所建設等事業補助金

地域のコミュニティ活動の場を確保することや自治会の負担軽減、集会所の長寿命化のため、自治会等が活動拠点として所有し、維持管理する集会所の改築、修繕及び空調設備整備を行った自治会に対して補助金を交付した。

- ・ 交付自治会数 4 自治会
- ・ 交付金額 4,633,000 円

自治会名	補助金額	補助種別
常磐西世古町内会	円 3,456,000	改築
小計	3,456,000	1自治会
前山町自治会	737,000	修繕
掛橋自治会	271,000	
小計	1,008,000	2自治会
竹ヶ鼻町自治会	169,000	空調設備整備
小計	169,000	1自治会
合計	4,633,000	4自治会

5 伊勢市総連合自治会事務

各自治会による自治活動について連絡協議し、自治会相互の親和と市民の福祉増進に努めるとともに、市政の発展に寄与することを目的として活動している伊勢市総連合自治会へ補助金を交付した。(補助金 985,210円)

6 認可地縁団体等関係

地方自治法第260条の2の規定に基づき、自治会等地縁による団体の法人格取得について、認可事務を行った。

- ・地縁団体認可団体数 3団体 (二軒茶屋町内会、三津区自治会、河崎南側町内会)
- ・累計認可団体数 106団体

○ 地域自治推進関係

1 地域自治推進事業

(1) ふるさと未来づくりの取組

平成27年度から本格稼働したふるさと未来づくり制度を推進し、地域自治の実現を図った。まちづくり協議会において、地域住民が地域課題を見つけ出し、課題解決に向けて取り組んだ。

- ・青壮年層がまちづくりに参画する機会を創出するため、情報発信を目的とした広報活動活性化プロジェクトを開始した。【進修まちづくりの会】
- ・北浜小学校児童と連携し、児童自ら地区のまちづくりに参画する機会が持てるよう、子ども委員会を設立した。【北浜まちづくり会議】
- ・城田小学校全児童が考えた地区内の危険な場所をもとに、地域安全マップを作成した。
【城田地区まちづくり協議会】
- ・明野幼稚園及び明野高等学校でSDGsに関する紙芝居を行い、子どもの地域活動への参画の促進やSDGsの啓発に取り組んだ。【小俣まちづくり協議会】 等

(2) 広報活動

ふるさと未来づくり制度の概要、まちづくり協議会が新たに始めた事業や特色のある事業及び取組をケーブルテレビ行政放送の特集番組で紹介するとともに、伊勢市ホームページに各まちづくり協議会のホームページへのリンクを掲載し、活動を紹介した。

また、令和3年度に発行したリーフレット（まちづくりの必要性やまちづくり協議会の活動事例について紹介）の掲載情報を改訂し、周知・啓発を図った。

(3) 研修会、講演会等の開催

ア まちづくり研修会の開催

ふるさと未来づくりに対する理解をさらに深めるとともに、市全体の気運醸成や課題解決、地域ニーズや組織運営の理解を図るため、まちづくり協議会や自治会を対象にまちづくり研修会を開催した。

- ・開催日 令和5年9月27日（水）
- ・場所 ハートプラザみその
- ・内容 情報発信力向上セミナー ～地域の活動や魅力をもっと知ってもらおう、伝わりやすい情報発信について～
- ・講師 PRDESIGN JAPAN 株式会社 代表取締役 佐久間 智之 氏
- ・参加者 41人

イ まちづくり講演会の開催

「ふるさと未来づくり」の取り組みへの理解を深め、地域の活動をより一層発展させるため、市民を対象に講演会を開催した。

- ・開催日 令和5年11月3日（金・祝）
- ・場所 生涯学習センターいせトピア
- ・内容 人口減少時代の『あかるい』まちづくり
- ・講師 四日市大学 学長 岩崎 恭典 氏
- ・参加者 130人

ウ ふるさと未来づくり推進委員会

ふるさと未来づくりの取組を推進するため、重要事項の調査審議を行う場として推進委員会を開催した。

- ・推進委員 5人

開催日	内容
5. 6. 28	ふるさと未来づくり制度及び課題の検討について
5. 8. 23	ふるさと未来づくり資金の見直し等について
5. 10. 19	今後のまちづくり協議会のあり方等について
5. 11. 27	ふるさと未来づくり推進委員会への諮問・答申について

エ ふるさと未来づくり意見交換会の開催

23 地区のまちづくり協議会が集まり、抱えている課題等について、話し合う場として意見交換会を3回開催した。

開催日	場 所	内 容	参加者
5. 7. 28	御菌公民館	ふるさと未来づくり資金等について	39 人 (会場 34 人、オンライン 5 人)
5. 9. 6	御菌公民館	ふるさと未来づくりにかかる今後の方向性等について	39 人 (会場 32 人、オンライン 7 人)
5. 11. 17	御菌公民館	ふるさと未来づくりにかかる今後の方向性等について	37 人 (会場 31 人、オンライン 6 人)

オ 地区担当職員会議の開催

新任地区担当職員向けにふるさと未来づくり制度について説明を行った。

- ・ 開 催 日 令和5年4月26日(水)
- ・ 内 容 地区担当者制度、ふるさと未来づくり制度及びふるさと未来づくり資金の概要等について
- ・ 参 加 者 11人

<地区担当職員>

部課長級職員 82 人

(内訳：進修、早修、中島、神社、大湊、浜郷、佐八、宮山、豊浜東、豊浜西、北浜、東大淀、四郷、小俣、明野、御菌は各3人、修道、明倫、厚生、有緝、城田、今一色は各4人、沼木、二見は5人)

カ 職員向け研修の開催

ふるさと未来づくりに対する理解をさらに深めるため、人材育成カレッジ講座として一般職員向けに開催した。

- ・ 開 催 日 令和5年8月23日(水)、9月7日(木)
- ・ 内 容 ふるさと未来づくり制度の概要、まちづくり協議会の取組、地域を支える人材の確保について
- ・ 参 加 者 計48人

(4) まちづくり協議会への財政支援

まちづくり協議会が実施する事務事業の財源として、ふるさと未来づくり資金を交付した。

また、まちづくり協議会が実施する防災機能強化等地域課題解決のための事業に対し、活動事業費(臨時特例分)を交付した。

交付金額：184,940,523 円

- ・ 事務運営費、活動事業費(基本額) 66,921,036 円(23 団体)
- ・ 活動事業費(臨時特例分) 5,344,870 円(10 団体、16 件)
- ・ 一括交付金化事業 112,674,617 円(19 団体)

2 市民活動補償制度

ふるさと未来づくりでの活動を含め、市民が安心して活動を行えるよう、活動拠点が伊勢市にある市民団体等の公益活動中に起きた傷害事故や賠償責任事故を損害保険により、補償を行った。

- ・保険の名称 伊勢市市民活動補償制度保険
- ・保険期間 令和5年6月1日午後4時から令和6年6月1日午後4時まで
- ・契約金額 889,020円
- ・対象事故 傷害事故、賠償責任事故、特定疾病事故、一般疾病事故
- ・適用件数 5件（傷害補償4件、賠償責任補償1件）

3 地域を支える人材確保の推進

人口減少や少子高齢化、生活様式の変化や価値観の多様化等に伴い、地域活動や市民活動の担い手不足が顕著になっていることから、地域を支える人材の確保と育成を推進するため、各所属が主体的に取り組む関係事業の進行管理を行うとともに、市の将来を支える人材の育成に取り組んだ。

開催日	内 容	参加者
5. 7. 18 5. 7. 19 5. 7. 20	地域を支える人材の確保に係る現状、課題及び方向性、具体的取組に関する意見交換等	77人 (所属長及び課長級職員)
5. 11. 1 5. 11. 15	地域活動の現状・課題・見通し、ファシリテーションのスキルについて	延べ38人 (中堅職員等)

4 いせミライプロジェクト推進事業

地域活動人口の増加につなげるため、高校生が自らまちづくり活動を行う事業を実施した。

- ・対 象 市内在住または市内の高校に通う高校生 15人
- ・協 力 伊勢市社会福祉協議会、いせ市民活動センター

(1) SNS 発信

- ・開 設 日 令和5年9月1日(金)
- ・内 容 TikTokアカウントを開設し、伊勢市の魅力やプロジェクト活動を発信
投稿数：10件

(2) 「伊勢まつり」参加

ア 「青春の1ページ～最高の思い出～」開催

- ・開 催 日 令和5年10月7日(土)
- ・場 所 尼辻イベント広場
- ・内 容 高校生を主役とした楽器演奏やダンスのステージを企画、運営

イ イベントブース出展

- ・出 展 日 令和5年10月8日(日)
- ・内 容 休憩ができる交流ブースを設置し、写真コンテストやゲームコーナーを実施

(3) 「Share de たかやなぎ」 (伊勢やまだ大学、立命館大学高田ゼミ共催)

- ・開催日 令和5年11月5日(日)
- ・場所 高柳商店街
- ・内容 地域住民の交流の場づくりを目的としたイベントを開催
 - ①わらしべ長者チャレンジ
不用品を事前募集し、リユースを目的とした物々交換ブースを設置
 - ②世界でひとつだけのキーホルダー作り
自らの指紋を写したキーホルダー作り体験ブースを設置

(4) 「いせミライスポーツ大会 ～Play with all ages～」開催

- ・開催日 令和6年3月24日(日)
- ・場所 三重電子スマイルアリーナ小俣
- ・内容 地域で楽しく交流ができるスポーツ大会を令和4年度に引き続き開催
ミニマルシェを併設し、4事業者が出店

5 支所の組織・機能のあり方の検討

伊勢市支所の組織・機能のあり方検討委員会において、支所機能再編に伴い著しいサービス低下を招かないよう、支所業務の代替措置として外部委託できる業務の整理や基本的な方向性の検討を行った。

6 地域活動デジタル化促進事業

自治会及びまちづくり協議会のデジタル活用を促進することにより、地域活動及び市への各種申請手続きの効率化・負担軽減、若い世代の参加促進を図るため、デジタル化に関心・意欲を持つ自治会及びまちづくり協議会を対象に、研修会の開催及びアドバイザーの派遣を行った。

(1) 研修会の開催

デジタル化の手法について理解を深めるとともに、デジタル化に対する気運醸成や課題解決を図るため、研修会を3回開催した。

開催日	開催場所	内容	参加団体数
5. 8. 24	伊勢市生涯学習センター いせトピア	デジタル化のメリットを学ぼう	13 団体 (21 人)
5. 9. 7	伊勢市生涯学習センター いせトピア	コミュニケーションツールを使おう	18 団体 (26 人)
5. 9. 20	伊勢市生涯学習センター いせトピア	ビデオ会議のメリットを学ぼう 等	14 団体 (22 人)

(2) アドバイザーの派遣

デジタル技術を活用する上で、地域団体が抱える課題を解決するため、アドバイザーを個別に派遣し、支援を行った。

派遣回数	派遣団体数	派遣団体数(回数別)			内容
		1回	2回	3回	
26回	14団体	8団体	0団体	6団体	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタルツールを用いた情報発信と連絡網構築 ・ホームページ作成 ・事務負担の軽減方法 等

戸 籍 住 民 課

○ 戸籍住民係

1 住民関係

(1) 住民基本台帳世帯数 (令和6年3月31日現在)

区 分	日本人	外国人	混合世帯	計
世 帯 数	55,102 世帯	920 世帯	223 世帯	56,245 世帯

(注) 伊勢市総数

(2) 住民基本台帳人口 (令和6年3月31日現在)

区 分	日本人	外国人	合 計
人 口	男	56,182 人	585 人
	女	62,203	736
	計	118,385	1,321
			119,706

(注) 伊勢市総数

(3) 住民異動状況 (令和6年3月31日現在)

区 分	件 数	人 数	
届	転 入	2,841 件	3,412 人
	転 出	3,171	3,774
	転 居	1,899	—
	世 帯 変 更	1,442	—
出	そ の 他	38	—
	職	出 生	594
権	死 亡	1,783	1,783
	職 権 消 除	13	—
	修 正	1,845	—
計	13,626	—	

(注) 伊勢市総数

2 戸籍関係

(1) 戸籍数及び本籍人口 (令和6年3月31日現在)

戸 籍 数	59,461 戸籍
本 籍 人 口	139,994 人

(注) 伊勢市総数

(2) 届出事件の状況

事件の種類	届 出	他市町村からの送付	合 計
出 生	484 件	316 件	800 件
婚 姻	438	719	1,157
離 婚	148	106	254
死 亡 ・ 失 踪	1,344	370	1,714
養 子 縁 組	43	23	66
養 子 離 縁	23	7	30
国籍の得喪・留保	6	3	9

本籍表示の変更	183 件	226 件	409 件
上記以外で氏・名の変更が生じるもの	211	120	331
上記以外で身分に変更が生じるもの	17	10	27
訂正・追完	70	6	76
不受理申出	23	15	38
その他	0	2	2
計	2,990	1,923	4,913

(3) 戸籍事務処理状況

区 分	件 数
新 戸 籍 編 製	651 件
戸 籍 全 部 消 除	965
違 反 通 知	6
戸籍の再製・補完	0
そ の 他	0
計	1,622

(4) 人口動態調査票作成状況

区 分	件 数
出 生	634 件
死 亡	1,853
死 産	9
婚 姻	487
離 婚	173
計	3,156

(注) 人口動態調査令（昭和 21 年勅令第 447 号）に基づき保健所へ提出。伊勢市総数

(5) 相続税法による死亡通知件数 1,854 件

(注) 相続税法（昭和 25 年法律第 73 号）第 58 条に基づき税務署へ通知。伊勢市総数

(6) 埋火葬許可状況

区 分	大 人	小 人	胎 児	計
埋 火 葬	1,244 件	5 件	9 件	1,258 件

(7) 民刑事項等処理状況

区 分	件 数
犯罪関係通知	172 件
民事関係通知	29
身元事項照会	2,479
計	2,680

(注) 伊勢市総数

(8) 伊勢市版出生届・婚姻届取扱件数 (注) 伊勢市総数

出生届 12 件 ・ 婚姻届 135 件

3 証明関係

(1) 住民票関係の交付等の状況

区 分		有 料	無 料	計	収 入 金 額	
住 民 票 の 写 し	本庁	28,822 件 (11,917) 〔14〕	2,900 件	31,722 件 (11,917) 〔14〕	5,764,400 円 (2,383,400) 〔2,800〕	
	支所	5,615	12	5,627	1,123,000	
住民票の除票の写し	本庁	1,815 〔4〕	1,260	3,075 〔4〕	363,000 〔800〕	
	支所	256	0	256	51,200	
広域交付住民票の写し	本庁	41	0	41	8,200	
	支所	0	0	0	0	
戸籍の附票の写し	本庁	1,876 (363) 〔17〕	3,467	5,343 (363) 〔17〕	375,200 (72,600) 〔3,400〕	
	支所	662	9	671	132,400	
戸籍の附票の 除票の写し	本庁	503 〔8〕	1,866	2,369 〔8〕	100,600 〔1,600〕	
	支所	235	1	236	47,000	
住民票記載事項証明	本庁	549	22	571	109,800	
	支所	173	0	173	34,600	
住民基本台帳閲覧	本庁	132	9	141	26,400	
	支所	0	0	0	0	
印鑑登録証明	本庁	19,841 (10,855)	18	19,859 (10,855)	3,968,200 (2,171,000)	
	支所	5,163	24	5,187	1,032,600	
諸 証 明	身 分 証 明	本庁	709 〔44〕	0	709 〔44〕	141,800 〔8,800〕
		支所	153	0	153	30,600
	そ の 他	本庁	296 〔25〕	155	451 〔25〕	59,200 〔5,000〕
		支所	57	6	63	11,400
本 庁 計		54,584 (23,135) 〔112〕	9,697	64,281 (23,135) 〔112〕	10,916,800 (4,627,000) 〔22,400〕	
支 所 計		12,314	52	12,366	2,462,800	
合 計		66,898 (23,135) 〔112〕	9,749	76,647 (23,135) 〔112〕	13,379,600 (4,627,000) 〔22,400〕	

(注1) () はコンビニ交付、〔 〕 はオンライン申請による内数

(注2) 住民基本台帳閲覧は、閲覧用紙1枚(20人まで抽出可能)で1件
住民基本台帳の閲覧団体数 27団体(うち公用 8団体)

(2) 戸籍謄抄本交付等の状況

区 分		件 数			収 入 金 額	
		有 料	無 料	計		
戸 籍	全部事項 (謄 本)	本庁	12,096 件 (2,781) 〔145〕 【77】	3,851 件 【13】	15,947 件 (2,781) 〔145〕 【90】	5,443,200 円 (1,251,450) 〔65,250〕 【34,650】
		支所	2,958 【20】	11	2,969 【20】	1,331,100 【9,000】
	個人事項 (抄 本)	本庁	2,137 (1,018) 〔12〕	127	2,264 (1,018) 〔12〕	961,650 (458,100) 〔5,400〕
		支所	617	0	617	277,650
	一部事項	本庁	6	12	18	2,100
		支所	0	1	1	0
	記載事項	本庁	0	0	0	0
		支所	0	0	0	0
	計	本庁	14,239 (3,799) 〔157〕 【77】	3,990 【13】	18,229 (3,799) 〔157〕 【90】	6,406,950 (1,709,550) 〔70,650〕 【34,650】
		支所	3,575 【20】	12	3,587 【20】	1,608,750 【9,000】
計		17,814	4,002	21,816	8,015,700	
除 籍 改 製 原 籍 戸 籍	全部事項 (謄 本)	本庁	10,876 〔133〕 【112】	8,507 【56】	19,383 〔133〕 【168】	8,157,000 〔99,750〕 【84,000】
		支所	2,971 【25】	1	2,972 【25】	2,228,250 【18,750】
	個人事項 (抄 本)	本庁	63 〔5〕	6	69 〔5〕	47,250 〔3,750〕
		支所	10	0	10	7,500
	一部事項	本庁	0	1	1	0
		支所	0	0	0	0
	記載事項	本庁	0	0	0	0
		支所	0	0	0	0
	計	本庁	10,939 〔138〕 【112】	8,514 【56】	19,453 〔138〕 【168】	8,204,250 〔103,500〕 【84,000】
		支所	2,981 【25】	1	2,982 【25】	2,235,750 【18,750】
計		13,920	8,515	22,435	10,440,000	
受 理 証 明 等	本庁	433 〈51〉	0	433 〈51〉	205,100 〈71,400〉	
	支所	7	0	7	2,450	
届 書 記 載 事 項 証 明	本庁	24	1	25	8,400	
	支所	0	0	0	0	
閱 覧	本庁	0	0	0	0	
	支所	0	0	0	0	
届 書 等 情 報 内 容 証 明 書	本庁	0	0	0	0	
	支所	0	0	0	0	
戸 籍 電 子 証 明 書 提 供 用	本庁	0	0	0	0	

識 別 符 号	支所	0 件	0 件	0 件	0 件
除籍電子証明書提供用	本庁	0	0	0	0
識 別 符 号	支所	0	0	0	0
本 庁 計		25,635 (3,799) 〔295〕 〈51〕 【189】	12,505 【69】	38,140 (3,799) 〔295〕 〈51〕 【258】	14,824,700 (1,709,550) 〔174,150〕 〈71,400〕 【118,650】
支 所 計		6,563 【45】	13	6,576 【45】	3,846,950 【27,750】
合 計		32,198 (3,799) 〔295〕 〈51〕 【234】	12,518 【69】	44,716 (3,799) 〔295〕 〈51〕 【303】	18,671,650 (1,709,550) 〔174,150〕 〈71,400〕 【146,400】

(注) () はコンビニ交付、〔 〕 はオンライン申請、〈 〉 は特別受理証明書、

【 】 は広域交付による内数

(3) 郵送請求処理件数

区 分	有 料	無 料	返 戻	取 扱 件 数
戸 籍 関 係 証 明	7,918 件	5,468 件	818 件	23,259 件
住 民 票 関 係 証 明	4,595	4,001		
諸証明関係(身分証明等)	334	125		
計	12,847	9,594		

(注) 「(1) 住民票関係の交付等の状況」及び「(2) 戸籍謄抄本交付等の状況」の内数

(4) マイナンバーカードの交付・電子証明書の発行状況

区 分	有 料	無 料	計	金 額
マイナンバーカード	288 件	7,263 件	7,551 件	230,400 円
電 子 証 明 書	288	11,009	11,297	57,600

ア 窓口でマイナンバーカードの交付申請補助を行った。

件数 1,236 件 (支所取り扱い分 60 件含む)

イ 介護施設等でマイナンバーカードの出張申請を行った。

件数 19 件

(5) コンビニ交付

全国のコンビニエンスストア等店舗において各種証明書が取得できるようにすることで、市民の利便性とサービス向上を図った。

取得できる証明書	住民票の写し、印鑑登録証明書、戸籍全部(個人)事項証明書、戸籍の附票の写し、所得(課税)証明書、課税証明書、非課税証明書
----------	--

(6) オンライン申請

令和4年2月1日より、デジタル政策課が導入した汎用的なオンライン申請システムを活用し、住民票及び戸籍の証明書の「オンライン申請(スマート申請)」のサービスを開始した。

利用者は市役所の窓口やコンビニ等へ出向くことなく、証明書を取得できるようになり、窓口の混雑緩和及び市民の利便性とサービス向上を図った。

各種証明書の発行状況

オンライン申請の 入 口 名 称	証明書の種別	入 口 別 申請件数	証明書別 発行件数	返 戻 (差し戻し・取下げ)
住 民 票 の 写 し	住民票の写し	15 件	14 件	40 件
	住民票の除票の写し		4	
戸籍の附票の写し	戸籍の附票の写し	19	16	
	戸籍の附票の除票の写し		9	
戸籍・改製原・ 除籍謄（抄）本	戸籍謄（抄）本 （戸籍全部（個人）事項証明）	199	157	
	改製原戸籍謄（抄）本		72	
	除籍謄（抄）本 （除籍全部（個人）事項証明）		66	
身 分 証 明 書	身分証明書	34	44	
独 身 証 明 書	独身証明書	21	25	
計		288	407	

(注) 「(1) 住民票関係の交付等の状況」及び「(2) 戸籍謄抄本交付等の状況」の内数

4 印鑑登録関係

(1) 印鑑登録数（令和6年3月31日現在） 83,031件（伊勢市総数）

(2) 印鑑登録事務処理状況（伊勢市総数）

区 分		件 数
増	登 録	3,255 件
	そ の 他	0
	計	3,255
減	廃 止	113
	亡 失	879
	死 亡	1,619
	転 出	1,225
	そ の 他	146
	計	3,982

5 支援措置関係

ドメスティック・バイオレンス等の被害者の保護のための措置として、住民基本台帳法による住民票の写し発行抑止及び戸籍の附票の写し発行抑止を行った。

住民基本台帳事務における支援措置者数（令和6年3月31日現在）

区 分	申 出 者	併せて支援を求める者	合 計
当市での申出受理	47 人	55 人	102 人
他市からの支援要請	88	102	190
計	135	157	292

6 特別永住者関係

特別永住者証明書の交付申請等を受け、法務省へ申請書を送付し、届いた証明書を申請者へ交付した。

特別永住者事務状況（伊勢市総数）

異 動 事 由	件 数	異 動 事 由	件 数
許 可	0 件	再 交 付（交 換 希 望）	0 件
証 交 付（法 施 行 前 未 取 得）	0	再 交 付（紛 失）	1
証 交 付（切 替）	0	有 効 期 間 更 新	12
再 交 付（汚 損 等）	0	記 載 事 項 変 更	0

7 住居表示事務

住居番号の申請を受け、実地調査を行うなどして住居表示事務を実施し、結果を申請者へ通知した。

新規付定

住 居	事 務 所	事 業 所 等	計
78 件 (30)	3 件 (0)	12 件 (0)	93 件 (30)

（注）（ ）はうち枝番号の付定数

変更

住 居	事 務 所	事 業 所 等	計
0 件 (0)	0 件 (0)	0 件 (0)	0 件 (0)

（注）（ ）はうち枝番号への変更数

8 自衛官募集事務

自衛隊三重地方協力本部伊勢地域事務所長から依頼を受け、懸垂幕掲示、広報いせ、文字放送を通じての広報等、新規隊員募集の事務補助を行った。

なお、市内から4名（陸上自衛隊2名、航空自衛隊1名、防衛大学校1名）の入隊者があった。

9 伊勢市戸籍住民関係窓口業務等委託

（1）安定した市民サービスと民間事業者の技術と創意工夫を活用した、より一層快適な市民サービスを提供するため、窓口業務等を民間事業者へ委託した。

ア 業務内容

- ・ 証明書交付請求の受付
- ・ 証明書の発行・交付
- ・ 戸籍届出（出生・死亡・婚姻・離婚等）の受付・入力業務
- ・ 住民異動届の受付・入力業務 等

イ 履行期間 令和3年1月1日から令和5年12月31日（3年間）
（契約締結日 令和2年8月17日）

ウ 契約金額 168,228,000円（税抜）
うち令和5年度分 42,057,000円（税抜）

エ 委託業者 株式会社 ニチイ学館
東京都千代田区神田駿河台4丁目6番地

（2）次期受託業者の選定をプロポーザル方式で実施した。

ア プロポーザル実施日 令和5年7月19日（水）

イ 参加申込者 2社

ウ 最適任者 株式会社ニチイ学館

エ 履行期間 令和6年1月1日から令和8年12月31日（3年間）
（契約締結日 令和5年8月22日）

オ 契約金額 178,056,000円（税抜）
うち令和5年度分 14,838,000円（税抜）

10 マイナンバーカードの取得促進の取り組み

マイナンバーカード取得者に対し、本館1階市民ホールにてマイナポイント申込手を支援した。

- ・実施時期 令和5年4月1日（土）から令和5年9月30日（土）の開庁日
- ・件数 3,286件
- ・委託先 株式会社 日本旅行伊勢支店
（実施期間 令和5年4月1日～5月31日の開庁日）
株式会社 シティツアーズ TABiALL 津南
（実施期間 令和5年6月1日～9月30日の開庁日）

○ 支所関係

1 住民関係・戸籍関係

（1）住民票関係・戸籍謄抄本等の交付状況

区分	神社支所	大湊支所	浜郷支所	宮本支所	豊浜支所
戸籍	764件 447,500円	347件 191,550円	1,495件 895,750円	726件 417,150円	727件 423,450円
住民基本台帳 関係	868 173,400	432 86,200	1,446 286,400	861 171,200	671 134,200
印鑑証明	559 110,800	321 63,600	805 160,200	632 126,200	681 135,800
諸証明	29 5,400	16 3,200	44 8,000	15 3,000	34 6,800
計	2,220 737,100	1,116 344,550	3,790 1,350,350	2,234 717,550	2,113 700,250

区 分	北 浜 支 所	城 田 支 所	四 郷 支 所	沼 木 支 所	合 計
戸 籍	851 件 506,850 円	800 件 465,600 円	571 件 331,350 円	295 件 167,750 円	6,576 件 3,846,950 円
住 民 基 本 台 帳 関 係	791 158,200	1,123 224,400	506 101,200	265 53,000	6,963 1,388,200
印 鑑 証 明	712 142,400	694 137,600	491 97,600	292 58,400	5,187 1,032,600
諸 証 明	36 7,200	17 3,400	14 2,800	11 2,200	216 42,000
計	2,390 814,650	2,634 831,000	1,582 532,950	863 281,350	18,942 6,309,750

(注) 戸籍住民係中の3証明関係「(1) 住民票関係の交付等の状況」及び「(2) 戸籍謄抄本交付等の状況」の内数

(2) マイナンバーカードの交付申請補助件数

神 社 支 所	大 湊 支 所	浜 郷 支 所	宮 本 支 所	豊 浜 支 所
10 件	3 件	22 件	4 件	3 件
北 浜 支 所	城 田 支 所	四 郷 支 所	沼 木 支 所	合 計
3 件	8 件	4 件	3 件	60 件

(3) その他の業務

市役所各課の業務、自治会との連絡調整業務、資源回収ステーション業務、図書業務その他の受付業務等の多岐に渡る業務を行い、市街地周辺の住民の利便性とサービス向上を図った。

人 権 政 策 課

○ 人権施策推進事業

1 伊勢市人権施策推進協議会

人権尊重の理念に関する市民相互の理解を深めるため、総合的かつ計画的な施策の推進を図ることを目的に関係官庁や市民団体等の代表で平成14年7月11日に設立した「伊勢市人権施策推進協議会」により、官民一体となって、様々な人権問題の解決に向けた取組みを実施している。

開催日	事業名	事業内容	備考
5. 6. 2	総会	令和4年度事業報告・決算報告 役員の選任 令和5年度事業計画（案）・予算（案）の承認	
5. 7. 1 ～12. 9	人権尊重啓発 ポスター・標語 募集事業	ポスター募集事業：市内小中学校児童生徒から 277点の応募 9月22日、10月10日ポスター審査 （市長賞9点、会長賞16点、奨励賞25点選出） 標語募集事業：市内に在住または通勤通学する15 歳以上の方（中学生を除く）から22点の応募 委員の投票により入賞者を決定 （市長賞1点、会長賞1点選出） 作品展示 10月27日～11月 6日イオンタウン伊勢ララパーク 11月 7日～11月20日ミタス伊勢 11月24日～11月30日伊勢市立伊勢図書館	広報いせ7月15 日号で公募
7.12	第1回 人権セミナー	演 題「ジェンダー平等の実現にむけて ～女性 の人権に視点をあてて～」 講 師 荻原 くるみさん（三重県男女共同参画 センター「フレンテみえ」所長） 場 所 御菌公民館 2階講堂	参加者25人
10.19	第2回 人権セミナー	演 題「ハラスメントを知る（人権を守ろう）」 講 師 里中 綾子さん（株式会社リントス 代 表取締役） 場 所 御菌公民館 2階講堂	参加者27人
10.20	第1回委員会	人権尊重啓発ポスター・標語募集事業経過報告、 人権セミナー及び人権講演会、街頭啓発について 場 所 伊勢市役所本庁舎東館 5-3会議室	
11.20	第3回 人権セミナー	演 題「LGBTと多様性～虹色に輝くまちづく りを目指して～」 講 師 山口 颯一さん（一般社団法人E L L Y 代表理事） 場 所 御菌公民館 2階講堂	参加者24人

12. 5	街頭啓発	人権週間にあわせ、市民の人権尊重の意識高揚を目的に、協議会委員による啓発冊子・物品の配布による啓発活動を実施 啓発場所 市内スーパー等 8 か所 啓発物品配布数 1000 個	参加者31人
12. 9	人権講演会	演 題 「僕達にはキラキラする義務などない」 講 師 山田ルイ 53 世さん（お笑いタレント） 場 所 生涯学習センター いせトピア 多目的ホール	参加者294人
6. 2. 10	いせ人権映画祭 （市と共催）	第9回 ISE HUMANRIGHTS MOVIE JAM いせ人権映画祭 場 所 生涯学習センター いせトピア 多目的ホール	参加者181人
2. 14	第4回 人権セミナー	演 題 「「障害」者の人権保障=健常者問題」 講 師 松村 元樹さん（公益財団法人反差別・人権研究所みえ） 場 所 御菌公民館 2階講堂	参加者24人
3. 25	第2回委員会	令和5年度事業（見込）及び決算（見込）報告 令和6年度事業計画（案）及び予算（案） 場 所 伊勢市役所本庁舎東館 5-3 会議室	
随 時	啓発用物品	啓発用手提げ袋	800袋作成
随 時	人権啓発冊子発行	人権ハンドブックNo.25 「SOGI」	800部作成

2 伊勢市人権施策基本方針の改定

伊勢市人権施策基本方針は、人権が尊重され守られる社会の実現の推進に関する基本的な事項や人権に関する課題について、市が実施すべき施策に関する基本的な事項を定めているが、前回の策定から約10年が経過し、社会情勢の変化に伴い新たな人権課題が生じてきていること等から基本方針の見直しを行うこととし、学識経験者、地域住民組織代表等で構成される伊勢市人権施策審議会による審議を経て、基本方針の改定を行った。

回 数	開催日	議事等
第 1 回	5. 6. 22	基本方針改定の進め方・方向性、市民アンケート結果報告
第 2 回	5. 8. 25	基本方針骨子案に係る審議
第 3 回	5. 10. 23	基本方針案に係る審議
第 4 回	6. 1. 16	パブリックコメント結果概要、意見を受けた素案の修正に係る審議

○ 人権啓発推進事業

市民一人ひとりが自らの人権意識を高め、すべての人々の人権が守られる心豊かな明るく住みよい地域社会を築いていくことを目的に、次のとおり啓発活動を推進した。

1 各種広報、啓発事業

広 報 啓 発 活 動	内 容	備 考
広報いせ人権情報掲載	人権尊重の理念の普及とその理解を深めてもらうことを目的に、様々な人権情報を掲載し、市民に人権について考える機会を提供した。	随時掲載
地域人権啓発紙の発行	市民館にて地域人権啓発紙を発行。(教育集会所、児童センターほか、課職員が編集に参加) 様々な人権問題をテーマとした記事や施設の活動状況を掲載して、地域住民に人権について考える機会を提供した。	地域人権啓発紙 2紙 毎月発行
人権週間パンフレット及び啓発物品の作成	人権週間をPRし、人権の大切さを広く市民に訴えるため、啓発パンフレットを作成し、人権尊重宣言都市啓発用物品と合わせて、企業啓発、関係機関窓口、街頭啓発等で配布した。	パンフレット 1,400枚 啓発物品 (カードルーペ) 2,500個
人権啓発パンフレット及び啓発物品の作成	市民の人権意識の高揚を図るため、人権17課題を簡潔にまとめた啓発用パンフレット及び啓発物品を作成し、行事等で配布し啓発をした。	パンフレット 3,000枚
人権学習リーフレットの作成	vol.34「障がいのある人の人権～合理的配慮ってなんだろう～」をテーマにしたリーフレットを作成した。	vol.34 800部
差別をなくす強調月間での展示及び懸垂幕、のぼりの掲出	本庁及び各総合支所にて人権パネル展を開催。本庁・小俣総合支所において懸垂幕を掲出。市役所本庁舎、各総合支所にのぼり旗の掲出。	
企業啓発	差別をなくす強調月間にあわせ、市内企業を訪問し、啓発活動を実施 【実施企業】愛敬会、そんじん会、むげんのかのうせい、三交伊勢志摩交通、エムケイコーポレーション、山口工務店、大忠食品、アイブレーン、勝原産業、大日企画、宮山、伊勢みそのショッピングセンター	12社訪問 啓発物品、パンフレット配布数 460個

2 人権相談

市民を対象とした、様々な人権問題についての相談を随時受け付け、相談者自らが主体的に解決できるよう情報の提供や助言を行った。

3 人権擁護委員との連携

法務大臣から委嘱を受け、市内各地域で活動している17人の人権擁護委員と連携し人権啓発、人権相談を行った。

○ 隣保館運営事業

周辺地域を含めた地域社会全体の中で、福祉の向上や人権啓発、住民交流の拠点となる開かれたコミュニティセンターとして、生活上の各種相談や成人学習講座、福祉介護講座等の諸事業を実施するとともに、これらの活動を通じ日常生活に根ざした啓発活動を行い、住民の交流促進と福祉の向上に努めた。

1 事業費

	総事業費	補助基準額	財 源 内 訳	
			県補助金	市 費
隣保館運営事業費	22,046,706 円	19,209,504 円	14,407,000 円	7,639,706 円

2 事業内容

事業区分		朝熊市民館		黒瀬市民館		計	
		件数	人員	件数	人員	件数	人員
相 談 事 業	人権相談	0	0	0	0	0	0
	職業相談	2	2	0	0	2	2
	教育相談	1	1	0	0	1	1
	福祉相談	0	0	0	0	0	0
	生活相談	2	2	1	1	3	3
	健康相談	0	0	0	0	0	0
	その他相談	0	0	10	10	10	10
講 座	福祉介護講座	3	63	3	57	6	120
	成人学習講座	4	127	3	93	7	220

3 成人学習講座詳細

館・回	項目	開催日	場 所	テーマ	講 師	参加人数
黒瀬市民館	第1回	5. 6. 16	黒瀬市民館	チェロを聴きながら 絆を大切に	高村 勝さん	人 44
	第2回	5. 8. 25	一色町公民館	子どもの人権 学校に行けない子どもたち	山口 茂樹さん	29
	第3回	5. 10. 13	小木町公民館	子育ては己育て 障がいを考える	西川 恒夫さん	20
朝熊市民館	第1回	5. 9. 16	中村町公民館	子育ては己育て 障がいを考える	西川 恒夫さん	27
	第2回	5. 10. 12	楠部町公民館	男女共同参画ってなあに？	NPO 男女共同参画 れいんぼう伊勢	55
	第3回	5. 10. 31	朝熊市民館	あなたのまちのまちづくり	岡田 満さん	26
	第4回	6. 2. 14	一字田町公民館	薬剤師としての職能	河井 栄作さん	19

4 工事関係

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
朝熊町 地内	朝熊市民館防水 等改修工事 (注)	防水及び外壁改修一式	円 6,916,800	5. 8.14	5.11.10
黒瀬町 地内	黒瀬市民館外壁 等改修工事 (注)	建築工事一式	5,723,300	5.10. 6	5.12.28
朝熊町 地内	朝熊市民館漏水 修繕工事	漏水修繕工事一式	660,000	5.10.20	5.10.30
黒瀬町 地内	黒瀬市民館トイ レ改修工事	トイレ改修一式	987,800	6. 1.23	6. 2.21

(注) 営繕課施行

○ 非核平和推進事業

1 非核・平和第44回空襲展の開催

市民の空襲の記録を収集し、展示することによって、核兵器の廃絶及び軍備縮小並びに平和を広く訴えるため、空襲展実行委員会に参画し、8月19・20日に第44回空襲展を開催した。

2 原爆被災ポスター展

原爆被災の実相を伝え、戦争や核兵器のない未来をつくることをめざして、広く市民に平和の尊さを訴える原爆被災ポスター展を7月19日から7月28日まで本庁と二見総合支所で、8月1日から8月15日まで御園総合支所と小俣総合支所で開催した。

3 非核平和都市宣言折り鶴

「中学生ピースメッセンジャー」広島平和事業への市内各市立中学校生徒代表の参加にあたり、各校生徒が平和への祈りを込めて作る千羽鶴用に、伊勢市非核平和都市宣言文を印刷した折り紙用紙を提供した。(10校×1,100枚)

4 日本非核宣言自治体協議会

日本非核宣言自治体協議会では、核廃絶を求める内容の決議を行った自治体が連携し、平和関連事業を実施、また、核実験を行った国に向けて抗議文書を送るなど、核兵器廃絶と恒久平和の実現に向けて様々な事業を行っている。当市においても、協議会の趣旨に賛同し、協議会に加盟、非核・平和推進に向け、活動に協力している。

(非核宣言自治体総数 1,667 自治体 (内、協議会会員自治体数 357 自治体) : 令和6年5月1日現在)

5 平和首長会議

平和首長会議は、世界の都市が緊密な連携を築くことによって、核兵器廃絶の市民意識を国際的な規模で喚起、核兵器廃絶を実現にむけ活動するほか、人類の共存を脅かす諸問題の解決、環境保護等、世界恒久平和の実現に寄与することを目的とし、この趣旨に賛同する都市(自治体)

で構成された機構であり、当市も趣旨に賛同し加盟し平和行政を進めている。

(平和首長会議加盟総数 世界 166 か国・地域 8,389 都市 (内、日本国内 1,739 都市) : 令和 6 年 5 月 1 日現在)

6 「国際平和デー」の周知

- ・国際平和デー「鐘の音とともに祈りを」

国連が定めた『国際平和デー』に合わせて、9月21日正午から、「鐘の音とともに祈りを」と題して市内の寺院や教会等の協力を得て鐘を鳴らし、平和を感謝し、恒久平和を祈念する取り組みを実施した。(寺院や教会等 97 か所に参加依頼)

○ 人権学習事業

市民が人権尊重の精神をもとに人権問題を正しく認識し、自らの課題として解決できるよう啓発活動の積極的な推進に努めた。

1 小学校区別人権・同和教育推進連絡協議会事業

市内各小学校区において、自治会長(区長)、民生委員、人権擁護委員、学校長などが委員となり人権啓発活動を行っている 21 の人権・同和教育推進連絡協議会へ、負担金を支払い、活動の支援を行った。

2 令和 5 年度伊勢市人権講演会

人権に対する正しい理解と認識を広めるため、令和 5 年 12 月 9 日、山田ルイ 53 世さん(お笑いタレント)を講師に招き、いせトピアにて講演会「僕たちにはキラキラする義務などない」を開催した。(参加者 294 人)

また、講演会開会行事として、人権尊重啓発ポスター・標語の表彰式を行った。

3 第 9 回 ISE HUMANRIGHTS MOVIE JAM (いせ人権映画祭)

人権をテーマとした自主制作映像作品を全国の幅広い年齢層から募集し上映することにより映像制作・鑑賞を通して人権に対する意識の啓発と人権感覚の向上をはかることを目的に映画祭を開催。コメンテーターに映画監督の瀬木直貴さんを招き、14 作品の上映を、いせトピアにて開催した。(上映会参加者 181 人)

応募していただいた上映作品は下記のとおり。

作 品 名	団 体 名	
無礼がなんだ	菅原 誉志規	千葉県
呪	桜丘高等学校 放送部	伊賀市
The Hole	鈴木 剛志	東京都
「私」は悪くない?	三重県立四日市高等学校 放送部	四日市市
人生履歴	三重県立松阪高等学校 放送部	松阪市

無意識のバイアス	三重県立伊勢高等学校 放送部	伊勢市
青い夏	シネマウント・フィルム・パーティー	千葉県
私と君のすれ違い	三重県立明野高等学校 放送部	伊勢市
ダンスペア	碓 文義	和歌山県
審議室	橋爪 康幸	志摩市
吟華筆致俳句ガイド	市川 良也	四日市市
カゾクノキョリ	なかやまえりか	東京都
夢咲案内人・バースデイ	エトセトラ・ムービー	東京都
スクリーン・スルー	映像 CUBE	松阪市

4 人権啓発講座

市内の小中学校の保護者及び一般を対象とし、人権に対する知識理解や人権感覚を身につけた人材を育成することにより、その受講者が家庭はもとより各小中学校や各地域の人権推進の担い手となり、住みよい社会を築くことを目的として4回の講座を開催した。（延べ参加者109人）各回の内容は下記のとおり。

	開催日	場 所	テーマ	講 師	参加人数
第1回	5. 7. 23	御菌公民館	子どもの人権	元大阪教育大学教授 園田 雅春さん	人 29
第2回	5. 10. 22	御菌公民館	障がい者の人権	浜松学院大学短期大学部 教授 志村 浩二さん	32
第3回	5. 11. 19	御菌公民館	性の多様性	一般社団法人 ELLY 山口 颯一さん	26
第4回	6. 1. 21	御菌公民館	ハンセン病についての正しい知識	国立ハンセン病資料館 事業部事業課 課長 大高 俊一郎さん	22

環 境 課

○ 環境全般

1 第3期伊勢市環境基本計画の改定

市の環境の保全に関する目標、基本的方向及び配慮の指針等について定める第3期伊勢市環境基本計画及び内包する伊勢市地球温暖化防止実行計画（計画期間：令和2年度～令和11年度）について、令和6年度に計画の中間見直しを予定しており、計画改定に向けて市民・事業者・大学生の意識調査及び伊勢市の温室効果ガス排出量等の現状と将来推計を行った。

2 伊勢市環境審議会の開催

第3期伊勢市環境基本計画の進行管理及び計画改定について、伊勢市環境審議会で審議した。

【環境審議会】

伊勢市環境基本条例第11条の規定に基づき設置

構成：公共的団体等に所属する者で、その団体の推薦を得たもの8人

学識経験を有する者3人

その他市長が必要と認める者7人

会長：中松 豊 氏（皇學館大学教育学部教授）

副会長：山村 直紀 氏（三重大学大学院工学研究科准教授）

【開催実績】

	開催日	内容
第1回	5. 7. 14	第3期伊勢市環境基本計画の進行管理について 第3期伊勢市環境基本計画の中間見直し及び市民等の意識調査について
第2回	6. 3. 15	第3期伊勢市環境基本計画の中間見直しに係る市民等の意識調査の結果について 伊勢市の温室効果ガス排出量等の現状と将来推計について

3 環境管理システムの推進

平成20年度からISO14001の規格によらない環境管理システムを運用している。

市役所本庁舎及び各総合支所にて取り組む事務活動について、事務用紙使用量、可燃ごみ排出量、電力使用量、公用車燃料使用量（ガソリン・軽油）の4項目の実績把握を行うとともに、クールビズ等の取組及び意識啓発等を行っている。

【使用量・排出量の実績】

区分	3年度	4年度	5年度
事務用紙使用量（千枚）	10,823	10,747	9,408
可燃ごみ排出量（袋）	5,591	5,113	3,499
電力使用量（kWh）	1,470,574	1,466,600	1,417,486
ガソリン使用量（ℓ）	83,831	85,496	84,820
軽油使用量（ℓ）	48,328	46,265	47,660

3 環境啓発・環境教育の推進

(1) 環境フェア

市民の皆様へ、体験などを通して、環境の状況や取組等を知っていただき、環境意識の向上や市の環境施策への理解と協力を得ることを目的とし、令和5年10月9日（月・祝）に、三重県営サンアリーナにおいて「伊勢市環境フェア～みんなで脱炭素社会をめざそう！～」を開催し、約8,000人に来場いただいた。

開催に当たっては、環境活動に取り組む事業所や団体、大学等の出展協力を得て、多様な体験等の企画を実施した。

※2023福祉フェスティバル事業実行委員会（勤労者地域づくり等参画支援事業実行委員会）

主催の「2023福祉フェスティバル 勤労者ゆとりT・I・M・E you・ゆう・遊ing」と同時開催。

(2) 伊勢市環境会議の関連事業

伊勢市環境会議は、伊勢市の環境保全・環境意識の向上を目的に、市民や企業の代表者、行政等により平成25年4月に発足した。毎月の例会において会員が知恵を出し合い、協力して啓発事業等を行っている。

令和5年度は、新型コロナウイルスの感染防止対策が取れる事業のみ実施した。

実施日	事業名	概要	備考
5. 4. 18 5. 5. 23 5. 6. 20 5. 7. 25 5. 8. 22 5. 9. 20 5. 10. 17 5. 11. 14 5. 12. 13 6. 1. 23 6. 2. 23 6. 3. 19	いきもの調査	勢田川流域において、かご網等で生物を採集し、種類を特定する生物調査を実施した。	実施場所 船倉排水機場付近 船倉排水機場付近 有蓮橋付近 三重県伊勢庁舎付近 新田排水機場前 一色公園前 有蓮橋付近 三重県伊勢庁舎付近 有蓮橋付近 有蓮橋付近 有蓮橋付近 三重県伊勢庁舎付近
5. 5. 27	環境講座 「ふろしきを活用してみよう！」	ふろしきの便利な使い方を通じて、海洋プラスチック・レジ袋などのごみ問題を学ぶ講座を実施した。	参加者 12人
自治会会場 5. 5. 21 ～5. 7. 9 一般会場 5. 7. 2	勢田川七夕大そうじ	「勢田川を天の川に」をスローガンに、河川浄化と環境意識の啓発として勢田川沿岸で清掃活動を実施した。一般会場と自治会会場を設けて実施した。	参加者 一般会場 約600人 自治会会場 約890人
5. 5. 20	ごみゼロ早朝清掃	「ごみゼロの日」にちなみ、まちの美化意識啓発のため、伊勢市駅前周辺を早朝清掃した。	参加者 約200人

5. 6. 8	神前海岸清掃活動、水辺のごみ実態調査	南勢志摩地域海岸漂着物対策連絡会議主催のごみ実態調査に参加した。	参加者 22人
5. 6. 19 5. 6. 26	海岸ごみ(マイクロプラスチック)清掃、貝がら収集	イベント等で実施予定の貝がらストラップづくりの材料とするため、海岸ごみ清掃と貝がら収集を行った。	参加者 6人
5. 6. 20	第20回身近な水環境の全国一斉調査	全国水環境マップ実行委員会主催の水環境の調査に参加した。(いきもの調査と同時実施)	参加者 2人
5. 7. 3 5. 7. 4 5. 7. 5 5. 7. 6 5. 7. 11 5. 7. 12 5. 7. 18 5. 7. 26 5. 7. 27 5. 7. 28 5. 9. 4 5. 9. 7 5. 9. 14 5. 10. 6 5. 11. 29 5. 12. 13 5. 12. 18 6. 1. 12 6. 1. 16 6. 1. 22 6. 1. 25 6. 2. 6 6. 3. 11	環境出前講座(園児対象)	<p>保育所・幼稚園の園児が楽しみながら環境について興味を持ってもらえるよう、会員が紙芝居やエプロンシアター等を実施した。</p> <p>参加者 えがお保育園 63人 中須保育園 96人 あけの保育園 93人 大湊保育園 33人 保育所しらとり園 20人 豊浜西保育所 109人 えがおあけぼの保育園 79人 みややま保育園 62人 伊勢けいゆう塾保育園 70人 御菌第一保育園 28人 修道こども園 43人 保育所きらら館 30人 小俣幼稚園 76人 中島こども園 78人 村松保育園 21人 船江保育園 34人 有滝保育園 17人 御菌第二保育園 18人 浜郷保育所 46人 たけのこ保育園 73人 明野幼稚園 33人 しごうこども園 61人 保育所ゆりかご園 50人</p>	
5. 8. 6	いせトピア子ども夏まつり	特定非営利法人まなびの広場が主催するイベントにて、貝がらストラップづくりや環境クイズを行った。また、リサイクル品・シロチドリ・活動写真・いきもの調査取組等を展示した。	来場者 826人
5. 10. 9	伊勢市環境フェア～みんなで脱炭素社会をめざそう！～	三重県営サンアリーナで行われた伊勢市環境フェアにおいて、環境意識の啓発を目的に体験ブース等を出展した。	来場者 約8,000人

表彰式 5.10.9 放送日 5.11.1 ～11.15 展示期間 ミタス伊勢 5.11.22 ～12.4 ララパーク 6.1.9 ～1.15	MOTTAINAI(もった いない)ポスター コンクール～「食 品ロス」をなくそ う!ごみをへらそ う!～	ごみ問題について親子で取り 組むきっかけ作り、また、子供 たちのごみ問題に対するメッ セージを広く市民に発信する ため、市内小中学生を対象にも ったいないに関するポスター を募集した。伊勢市環境フェア において受賞者への表彰式を 実施し、入賞作品は市内商業施 設等にて展示するほか、ケーブ ルテレビにて放送した。	応募総数 394 作品 (入賞 51 作品)
5.11.28	奈佐の浜海岸清掃	南勢志摩地域海岸漂着物対策 連絡会議主催のごみ実態調査 に参加した。	参加者 30 人
5.12.1 ～12.26	環境会議の活動写 真展示	環境会議の取組を紹介するた め、百五銀行伊勢支店のロビー に活動写真等を展示した。	
5.12.10	みえ環境フェア	メッセウイング・みえで開催さ れた、三重県地球温暖化防止活 動推進センター主催の、みえ環 境フェアに参画し、貝がらスト ラップづくり、環境クイズを行 った。また、活動写真・いきも の調査取組等を展示した。	来場者 約5,000 人
6.1.7	いせトピア子ども 新春まつり	特定非営利法人まなびの広場 が主催するイベントにて、貝が らストラップづくり、環境クイ ズを行った。また、リサイクル 品・活動写真・いきもの調査取 組等を展示した。	来場者 750 人
6.2.1 6.2.2 6.2.7 6.2.8 6.2.9	地球温暖化防止街 頭啓発	地域住民等の地球温暖化防止 に関する意識の向上を図るた め、啓発チラシを配布した。	実施場所 プライスカット伊勢 二見店 ぎゅーとらラブリー 藤里店 イオンタウン伊勢ラ ラパーク 伊勢みそのショッピ ングセンター ぎゅーとら小俣店
6.2.23	勢田川に親しむ事 業(勢田川ウォッ チング)	勢田川を身近に感じてもらえ るよう、親子等を対象に、勢田 川の名所や動植物等の観察会 を実施した。	参加者 2 人
随時	ボランティア清掃 ごみ袋	少人数での河川等のボランテ ィア清掃を支援するため、ボラ ンティア清掃ごみ袋を希望者 へ配布した。	配布枚数 715 枚

(3) 皇學館大学との連携事業

皇學館大学と市は、文化・教育・学術等の分野で相互に機能向上を図るとともに、地域の活性化と人材の育成を図ることを目的に、平成 20 年 7 月 11 日に連携協定を締結している。

環境分野における連携として、教育学部生物学ゼミ及び理科教育学ゼミによる昆虫を活用した環境に関する出前講座を実施しており、小学校 6 校において出前講座を実施した。

また、教育学部社会科教育学ゼミとの連携により、伊勢市環境フェアにおいて環境啓発「ブロックで作ってみよう脱炭素社会」を実施した。

【出前講座実績】

実施日	小学校名	学年・人数
5. 5.26	四郷小	1 年生 18 人
5. 6.30	城田小	3 年生 42 人
5. 7. 3	小俣小	3 年生 57 人
5. 7.12	小俣小	3 年生 54 人
5. 7.14	四郷小	3 年生 22 人
5. 9. 4	佐八小	1 年生 7 人、2 年生 6 人、3 年生 5 人
5. 9. 6	小俣小	6 年生 61 人
5. 9. 8	小俣小	6 年生 63 人
5. 9.22	中島小	3 年生 35 人
5.11.22	東大淀小	1 年生 11 人

(4) 事業者における環境教育

事業者においては、事業者自らの企画による環境教育等が社会貢献活動として実践されており、各事業者が有する人材・学習教材となりうる資材の提供等の協力をいただくことで学習環境の充実を図るため、環境教育に関する協定書を締結している。

協定に基づき、市内の小学校向けに環境出前講座等を実施した。

また、新たに河田フェザー株式会社、パナソニック株式会社と協定書を締結し、令和 6 年度から環境教育に協力いただくこととなった。

【環境出前講座等実績】

実施主体	実施日	小学校名	学年・人数	概要
中部電力	6. 2.15	御菌小	6 年生 70 人	電気のしくみに関する出前講座
	6. 2.20	進修小	5 年生 23 人 6 年生 35 人	電気のしくみに関する出前講座
三十三銀行	5.10.17	豊浜西小	4 年生 20 人 5 年生 28 人	みえこどもエコ活動説明
横浜ゴム	5.10.10	修道小	5 年生 62 人	工場見学、植樹体験
	5.10.30	早修小	1 年生 25 人 2 年生 20 人	工場見学、植樹体験
	5.11. 9	修道小	2 年生 51 人	工場見学、植樹体験
	5.11.15	みなと小	4 年生 42 人	生物多様性保全活動等に関する出前授業
	5.11.16	城田小	3 年生 43 人	工場見学、植樹体験
	5.11.28	豊浜西小	4 年生 18 人	工場見学、植樹体験
	5.12.12	佐八小	1 年生 7 人 2 年生 7 人 3 年生 5 人	工場見学、植樹体験

<参考：協定年月日及び協定先>

平成 23 年 9 月 30 日 中部電力株式会社（現：中部電力パワーグリッド株式会社）

平成 27 年 1 月 26 日 株式会社第三銀行（現：株式会社三十三銀行）

平成 28 年 1 月 22 日 横浜ゴム株式会社三重工場

令和 5 年 12 月 27 日 河田フェザー株式会社

令和 6 年 1 月 12 日 パナソニック株式会社

(5) 環境講座

三重県環境学習情報センターとの連携により環境講座「ふろしきを活用してみよう!」、パナソニック株式会社との連携により「親子で学ぶ! エネルギーの創・蓄・省と工作教室」を実施した。

実施日	実施場所	内 容	参加者
5. 5.27	生涯学習センターいせトピア	環境講座「ふろしきを活用してみよう!」	12 人
5. 7.29	二見老人福祉センター	親子で学ぶ! エネルギーの創・蓄・省と工作教室	14 組 31 人

○ 地球温暖化防止対策の推進

1 地球温暖化防止の啓発

市民の皆様には地球温暖化への意識を高めてもらい、一人ひとりの行動変容につなげるため、様々な手法により市民啓発を行った。

(1) イベント

実施日	イベント名	実施場所	概 要
5. 4.23	アースデイ伊勢 2023	宮川ラブリバー公園	電気自動車の展示、給電 PR
5. 5. 5	YOKOHAMA「ふれ愛まつり 2023」	横浜ゴム株式会社三重工場	電気自動車の展示、給電 PR 地球温暖化防止啓発チラシ配布
5. 6. 8	高柳の夜店	伊勢高柳商店街	電気自動車の展示、給電 PR、太陽光発電等の共同購入事業 PR
6. 2.18	電気自動車・エコドライブ啓発イベント	ミタス伊勢 催事場	電気自動車の展示、エコドライブシミュレーター体験、地球温暖化防止啓発パネル展示・チラシ配布

(2) 街頭啓発

実施日	実施場所	概 要
6. 2. 1	プライスカット伊勢二見店	地球温暖化防止啓発チラシ・啓発物品の配布
6. 2. 2	ぎゅーとらラブリー藤里店	
6. 2. 7	イオンタウン伊勢ララパーク	
6. 2. 8	伊勢みそのショッピングセンター	
6. 2. 9	ぎゅーとら小俣店	

(3) 広報いせ記事掲載

掲載号	タイトル	主な内容
広報いせ 6 月 1 日号	太陽光パネルと蓄電池で、地球にやさしい暮らしを!	太陽光発電等のメリット・共同購入事業 PR

広報いせ 6月15日号	環境について考え、できることを実践しましょう	家庭でできる省エネの取組 PR
広報いせ 2月1日号	脱炭素で寒い冬も快適に！お得な省エネ生活を始めよう！	家庭でできる省エネの取組 PR

(4) 電気バスによる啓発

三重交通株式会社が平成26年3月に導入した大型電気バスについて、市の地球温暖化防止の取組に賛同する株式会社ポケモンの協力を得て、車両内外にポケモンデザインのラッピングを施して運行し、啓発効果を高めている。

大型電気バスのラッピング更新を3年ごとに行っており、令和5年4月に3度目のリニューアルをした。また、三重交通株式会社が令和5年度から伊勢市コミュニティバス「おかげバス」として新たに2台導入した小型電気バスにもポケモンデザインのラッピングを施している。

令和5年4月24日、三重交通株式会社と伊勢市の共同でお披露目式を開催した。

2 事業所の脱炭素化支援

(1) 脱炭素経営セミナー

事業所の温室効果ガス排出削減に向けた取組を促進するため、カーボンニュートラルに関する連携協定を締結している株式会社百五銀行の協力のもと、伊勢商工会議所にて脱炭素経営セミナーを開催した。

実施日	実施場所	内 容	参加者
5.11.8	伊勢商工会議所	伊勢市におけるカーボンニュートラルの取組説明 講演「カーボンニュートラル実現に向けた脱炭素経営のススメ」	34人

(2) 事業所脱炭素化支援補助金

事業所の温室効果ガスの排出削減に向けた取組を促進するため、伊勢市事業所脱炭素化支援補助金制度を令和5年度に創設し、中小企業者が実施する温室効果ガス排出量算定及び省エネルギー診断等に要する費用の一部を補助した。

年度	交付件数	交付額合計
5年度	10件	1,136,000円

3 自家消費型太陽光発電設備等設置費補助金

再生可能エネルギーの利用を促進し、温室効果ガスの排出削減を図るとともに、分散型エネルギー社会の実現に資するエネルギーの地産地消を促進するため、再生可能エネルギー電力の自家消費を目的とした住宅への太陽光発電設備や定置型蓄電池の設置者に対し、補助金を交付した。

年度	区分	交付件数	交付額合計
5年度	太陽光発電設備	7件	2,590,000円
	蓄電池	5件	1,858,000円
合計	—	—	4,448,000円

4 エコドライブの推進

地球温暖化防止対策として、自動車から排出される二酸化炭素を減らすことが課題であり、次世代自動車の普及とともに、自動車の使用方法の対策が重要であることから、燃費向上や安全運

転の効果が期待できるエコドライブの普及を図っている。

イベントでのエコドライブシミュレーター体験・パネル展示や、街頭啓発でのエコドライブ啓発チラシの配布を行った。

5 ノーマイカーデー（エコ通勤）の実施

職員の通勤における温室効果ガス排出の削減と率先垂範を目的として、ノーマイカーデーの取組を実施した。

【取組内容】

- ・勤務場所、職種等に関わらず、全職員対象
- ・毎月第3月曜日が属する週を「ノーマイカーウィーク」と位置づけ、期間中のエコ通勤の呼び掛け。また、令和5年12月からこの週について、水、木曜日に加えて金曜日をノー残業デーとし、エコ通勤をより一層推進した。
- ・車やバイクを使わず、公共交通機関や自転車、徒歩、車の相乗りでの通勤の推奨

○ 生活排水対策の推進

生活排水処理施設の整備、生活排水対策にかかる啓発について計画的、総合的に推進することを目的に平成28年3月に「第2期伊勢市生活排水対策推進計画」を策定、令和3年3月に計画の見直しを行い、合併処理浄化槽の設置促進及び共同污水处理施設の適正管理を推進している。

1 浄化槽設置整備事業補助金

合併処理浄化槽の設置を促進するため設置者に対し補助を行った。

(1) 予定処理区域外（予定処理区域内低地等含む。）

【新築】

人槽	設置費用		
	補助金 限度額	交付 基数	交付額 計
5	千円 168	基 72	千円 12,096
7	207	13	2,691
10-50	276	0	0
合計	-	85	14,787

【単独処理浄化槽からの転換】（建替えなし）

人槽	設置費用			配管費用			撤去費用		
	補助金 限度額	交付 基数	交付額 計	補助金 限度額	交付 件数	交付額 計	補助金 限度額	交付 件数	交付額 計
5	千円 332	基 0	千円 0	千円	件	千円	千円	件	千円
7	414	5	2,070	300	7	2,100	90	7	630
10-50	548	2	1,096						
合計	-	7	3,166	-	7	2,100	-	7	630

【単独処理浄化槽からの転換】（建替えあり）

人槽	設置費用			配管費用			撤去費用		
	補助金 限度額	交付 基数	交付額 計	補助金 限度額	交付 件数	交付額 計	補助金 限度額	交付 件数	交付額 計
5	千円 332	基 0	千円 0	千円	件	千円	千円	件	千円
7	414	1	414	60	1	60	90	1	90
10-50	548	0	0						
合計	-	1	414	-	1	60	-	1	90

【くみ取りからの転換】

人槽	設置費用			配管費用		
	補助金 限度額	交付 基数	交付額 計	補助金 限度額	交付 件数	交付額 計
5	千円 332	基 8	千円 2,656	千円	件	千円
7	414	1	414	60	9	540
10-50	548	0	0			
合計	-	9	3,070	-	9	540

(2) 予定処理区域内

【新築及び単独処理浄化槽・くみ取りからの転換】

人槽	設置費用		
	補助金限 度額	交付 基数	交付 額計
5	千円 110	件 25	千円 2,750
7	138	7	966
10	182	0	0
合計	-	32	3,716

※予定処理区域内においては、配管、単独浄化槽の撤去費用及び11人槽以上の浄化槽は補助対象外

2 共同汚水処理施設修繕工事補助金

住民が組織する団体が管理する共同汚水処理施設の適正な維持管理を促進するため、設置後7年以上が経過した共同汚水処理施設の修繕工事（修繕工事に要する経費が1件当たり30万円以上）を実施した管理団体に対し補助を行った。

団地名(人槽)	事業費	補助金額	事業概要
大倉うぐいす台団地 (1,400人槽)	円 5,274,500	円 1,758,000	曝気槽散気装置取替工事 破砕機更新工事 流入棟補修工事
イトーピアふじが丘団地 (2,800人槽)	2,640,000	880,000	汚水(計量)ポンプ取替、 ばっ気フロア修繕、コミ ニューター取替(中継ポ ンプ槽)、汚水ポンプ取替 (中継ポンプ槽)、レベル スイッチ取替
計	7,914,500	2,638,000	-

○ 公害対策事業

1 大気汚染調査

市内の大気汚染の状態を把握するため、三重県環境生活部が厚生中学校に大気環境測定局を設置（昭和63年3月測定開始）し、二酸化硫黄、PM2.5、浮遊粒子状物質、オキシダント、窒素酸化物、炭化水素等について測定調査した。結果については、三重県ホームページに掲載されている。

（1）光化学スモッグ発生状況

発令内容	回数
予報	なし
注意報	なし

2 水質調査

河川や幹線排水路及び海域の水質汚濁状態を把握するため、水質調査を行った。

（1）水質調査実施状況

区分	調査対象	地点数	項目数	回数
河川	10	13	7～11	4～12
幹線排水路	4	6	7～11	4～12
海域	1	1	8	4

（2）主な河川等のBOD調査結果

区分	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	環境基準
勢田大橋（勢田川） （三重県公表値）	mg/l 4.9	mg/l 4.6	mg/l 2.0	mg/l 1.9	mg/l —	5 mg/l以下
桧尻川合流点（勢田川）	5.7	5.6	4.6	2.1	1.6	5 mg/l以下
中部幹線出口（勢田川）	6.1	6.2	5.1	4.8	17.0	5 mg/l以下
有滝橋（江川）	3.0	1.0	1.5	1.7	1.1	—
大堀川橋（大堀川）	3.2	1.1	2.8	3.3	1.4	—

※数値は75%値

（3）海域のCOD調査結果

区分	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	環境基準
宇治山田港	mg/l 0.5未満	mg/l 0.5未満	mg/l 0.5未満	mg/l 0.7	mg/l 1.4	3 mg/l以下

※数値は75%値

3 騒音・振動調査

市内の騒音及び振動の状態を把握するため、環境騒音・道路交通振動について測定した。

（1）環境騒音・道路交通振動調査

区分	地点数	基準適合地点
一般環境騒音	2	2/2
道路交通騒音	2	2/2
道路交通振動	1	1/1

(2) 一般環境騒音調査結果

測定地点	用途地域	地域類型	基準値		測定値
				dB	dB
小木町	準工業地域	C	昼間	60	49
			夜間	50	46
上地町	未指定	—	昼間	—	41
			夜間	—	30

(3) 道路交通騒音調査結果

市内の主要幹線道路における環境基準達成状況を把握するため、騒音規制法第18条第1項の規定に基づき、自動車騒音の常時監視を行った。この調査は、道路環境の各種施策へ反映を図る資料として、環境省環境管理状況局自動車騒音環境対策課が配布する「面的評価支援システム」を用いて、評価対象路線における環境基準の達成状況を調査するもの。

測定地点 路線名	用途地域	地域類型	基準値		測定値
				dB	dB
小木町 一般国道23号	準工業地域	C	昼間	70	69
			夜間	65	62
上地町 伊勢多気線	未指定	—	昼間	—	68
			夜間	—	60

(4) 道路交通振動調査結果

測定地点	用途地域	基準値		測定値
			dB	dB
岩淵1丁目7番 29号 伊勢市役 所	近隣商業地域	昼間	70	32
		夜間	65	30

4 悪臭調査

公害防止とともに生活環境の保全を図るため、臭気調査を1か所行った。

5 公害苦情等処理状況

市民から電話、窓口等により寄せられる身の回りに関する苦情について対応した。

区分		3年度	4年度	5年度
典型 7 公害	大気汚染	件 53	件 45	件 44
	水質汚濁	11	8	11
	土壌汚染	0	0	0
	騒音	36	46	20
	振動	0	0	1
	地盤沈下	0	0	0
	悪臭	26	21	22
	小計	126	120	98
その他	草刈り・樹木剪定	131	128	134
	害虫	10	14	12
	動物(犬猫等)	52	47	57
	その他	78	99	58
	小計	271	288	261
合計		397	408	359

6 公害関係法令等に基づく各種届出受理業務

公害関係法令等に基づき、事業活動を行う工場及び事業場、また、特定建設作業に対する各種届出の受理業務を行った。

(1) 特定施設に関する設置等の届出

区分		4年度			5年度		
		設置届	廃止届	その他	設置届	廃止届	その他
大気汚染防止法		件 1	件 2	件 3	件 1	件 0	件 3
水質汚濁防止法		14	3	18	21	9	20
騒音規制法		3	0	1	2	2	7
振動規制法		1	0	0	1	1	6
三重県 生活環境の保 全に関する条 例関係	ばい煙	1	1	1	0	1	1
	炭化水素系物質	0	0	0	0	0	0
	粉じん	1	0	2	0	0	3
	汚水	0	0	0	0	0	1
	騒音	4	2	8	3	0	1
	振動	0	2	6	0	0	0
	揚水設備	1	0	1	0	0	1
ダイオキシン類対策特別措置法		0	0	0	0	0	0
特定工場における公害防止組織の整備に関する法律		0	0	16	0	0	6
計		26	10	56	28	13	49

(2) 特定建設作業に関する届出

区分	3年度		4年度		5年度	
	法律	条例	法律	条例	法律	条例
騒音	件 31	件 5	件 27	件 1	件 42	件 5
振動	18	2	22	1	22	3
計	49	7	49	2	64	8

(3) その他の法令等に基づく届出等に係る意見

区分	3年度	4年度	5年度
伊勢市土地開発事業指導要綱に基づく事前協議等に係る意見	件 17	件 24	件 13
大規模小売店舗立地法に基づく届出に係る意見	4	1	3
計	21	25	16

○ 墓地関係

1 市営墓地管理

市営大世古墓地、大湊墓地及び小俣若山墓地を効率的に管理するため、業務委託等を行い墓地の環境整備を行った。

(1) 管理区画数

区 分	3.3 m ² 以下	3.3 m ² 超 6.6 m ² 以下	6.6 m ² 超 9.9 m ² 以下	9.9 m ² 超	計
大世古墓地	区画 934	区画 485	区画 89	区画 101	区画 1,609
大湊墓地	805	82	7	2	896
小俣若山墓地	1,235	0	0	0	1,235
計	2,974	567	96	103	3,740

※令和6年3月末時点

(2) 使用状況

墓 地 名	新規使用	返還	残数
大世古墓地	区画 6	区画 22	区画 189
大湊墓地	3	7	62
小俣若山墓地	11	12	38
小俣若山納骨堂	14	0	273
計	34	41	562

※令和6年3月末時点

(3) 業務委託

施行場所	委託名	委託概要	金額	着手	完了
大世古墓地	市営大世古墓地管理等業務委託	埋蔵の立会い、草刈等	円 1,379,000	5. 4. 1	6. 3. 31
大湊墓地	市営大湊墓地管理業務委託	埋蔵の立会い、草刈等	486,000	5. 4. 1	6. 3. 31
小俣若山墓地 及び納骨堂	市営小俣若山墓地 管理業務委託	埋蔵の立会い、草刈等	561,046	5. 4. 1	6. 3. 31
伊勢市役所 環境課	伊勢市墓地管理シ ステム運用保守業 務委託	墓地管理システムの 運用保守	475,200	5. 4. 1	6. 3. 31
伊勢市役所 環境課	墓地管理システム セットアップ及び データ移行業務委 託	新たに導入した墓地 管理システムのセッ トアップ及びデータ 移行	330,000	5. 9. 26	5. 12. 28
大世古墓地	石材処分業務委託	無縁墓石等の処分	93,363	6. 1. 18	6. 3. 21
大世古墓地	無縁墓石等撤去及 び改葬業務委託	無縁墓石等の撤去集 積、撤去区画の埋蔵物 を調査のうえ収蔵	572,000	6. 2. 21	6. 3. 15
計	—	—	3,896,609	—	—

(4) 賃借業務

賃借名	賃借期間	賃借料
墓地駐車場賃借(小俣若山墓地)	5. 4. 1～ 6. 3. 31	円 240,000

(5) 工事

施行場所	工事名	工事概要	金額	着手	完了
小俣若山納骨堂	小俣納骨堂照明器具取替工事	天井埋込みの器具を取替え、LED照明を取付ける	円 85,800	5.10.11	5.10.20
大湊墓地	令和5年度伊勢市営大湊墓地井戸ポンプ改修工事	井戸のポンプと蓋の交換、改修	297,000	6.2.1	6.2.29

(6) 備品購入

購入先	品名	概要	金額	納品日
株式会社 アイ・シー・エス	デスクトップパソコン	墓地管理システムを構成するパソコンをオープンビッドにて購入	円 200,200	5.9.25

(7) 墓地管理手数料収納状況

区分	予算現額	調定額	収納済額	不納欠損額	収入未済額	収納率
現年度分	円 4,300,000	円 4,422,420	円 4,403,650	円 0	円 18,770	% 99.6
滞納繰越分		149,690	21,660	25,000	103,030	14.5
計	4,300,000	4,572,110	4,425,310	25,000	121,800	96.8

(8) 墓地管理手数料収納件数及び割合

区分	収納件数	割合
口座振替	件 1,360	% 41.0
窓口 納付	コンビニ等	1,270 38.29
	金融機関・市窓口	687 20.71
合計	3,317	100

2 共同墓地整備事業補助金

自治会等が管理する共同墓地の環境改善を図るため、自治会等が行った墓地整備事業に対し補助を行った。

区分	事業費	補助金額	備考
西之坂墓地	円 2,766,000	円 921,000	樹木伐採、通路整備、災害復旧経費
天神・小町塚墓地	1,237,500	412,000	通路整備
北山墓地	823,900	274,000	樹木伐採
新開墓地	374,220	124,000	道具保管庫整備
宗安寺墓地	473,000	157,000	道具保管庫整備
今一色区墓地	2,816,750	938,000	フェンス等整備
松下墓地	605,000	201,000	樹木伐採
江墓地	2,200,000	733,000	階段整備
計	11,296,370	3,760,000	

○ 衛生・美化関係

1 防疫

生活環境の保全を目的に、ハチ防護服の貸出を行った。また、煙霧消毒については、令和4年度から取り扱いが安全なボウフラ等駆除薬剤の配布に切り替えた。

区分	2年度	3年度	4年度	5年度
ハチ防護服貸出	件 36	件 28	件 46	件 29
台風等による消毒剤配布	0	0	4	9
煙霧消毒	1	2	—	—
ボウフラ等駆除薬剤配布	—	—	2	0

2 公衆浴場に対する支援

市内にある公衆浴場の確保を図るため、伊勢公衆浴場組合を通じて、市内の公衆浴場3か所に集客用の物品支援（トイレトペーパー862個、ボックスティッシュ324箱）を行った。

3 高麗広地区飲料水浄化施設等設置補助事業

高麗広地区においては上水道施設がないことから、良質で安全な飲料水の確保のために、自家用井戸や浄水施設等を設置した当該地区住民に対し補助を行っている。令和5年度の申請は無かった。

○ 犬・猫関係

1 狂犬病予防事務

狂犬病予防法に基づき、飼い犬情報の管理を行った。

区分		2年度	3年度	4年度	5年度
登録数		頭 7,316	頭 7,158	頭 7,141	頭 7,120
新規	動物病院	286	271	301	236
	窓口等	125	137	148	143
予防注射接種数		4,683	4,378	4,535	4,188
獣医師等		4,232	4,378	4,535	4,188
集合注射		451	—	—	—

※令和6年3月末時点

2 犬及び猫の不妊手術費等の助成

犬や猫の適正飼育を促進するため、不妊手術費等の一部助成を行った。

区分		助成額/件	3年度		4年度		5年度	
			件数	交付金額	件数	交付金額	件数	交付金額
犬	雄	円 3,000	件 103	円 309,000	件 135	円 405,000	件 104	円 312,000
	雌	4,000	119	476,000	105	420,000	117	468,000
猫	雄	2,500	262	655,000	247	617,500	175	437,500
	雌	3,500	321	1,123,500	294	1,029,000	222	777,000
計			805	2,563,500	781	2,471,500	618	1,994,500

3 飼い主のいない猫対策

猫と人が共生できる社会を目指すとともに生活環境の保全を図るため、地元自治会、伊勢保健所、三重県動物愛護推進センター（あすまいる）、公益財団法人どうぶつ基金、動物ボランティアと連携しTNR活動を実施した。また、伊勢市が市内動物病院と委託契約を締結し、TNR活動の実施を開始した。

【TNR実施数】

区分		2年度	3年度	4年度	5年度
三重県動物愛護推進センター実施分	回数	9回	7回	6回	9回
	匹数	81匹	85匹	34匹	81匹
伊勢市委託分	回数	—	—	36回	35回
	匹数	—	—	56匹	89匹

※TNR活動…飼い主のいない猫に対して、不妊去勢手術を行い元の場所に戻すことで繁殖を抑制し苦情や殺処分数の減少に寄与する活動

○ 水道法関係

水道法に基づく専用水道、簡易専用水道に関する届出、三重県小規模水道条例に基づく水道の届出について、届出受理業務を行った。

区分	4年度		5年度	
	設置届	廃止届	設置届	廃止届
水道法(専用水道)に基づく届出	件 3	件 0	件 0	件 1
水道法(簡易専用水道)に基づく届出	1	0	5	2
三重県小規模水道条例に基づく届出	0	1	0	0

○ 伊勢広域環境組合

し尿等処理、火葬業務等について、伊勢市、明和町、玉城町、度会町で構成する伊勢広域環境組合で衛生的、効率的に行った。

業務名	施設	構成市町
し尿等処理業務	クリーンセンター	伊勢市、玉城町、度会町
火葬業務	斎場	伊勢市、明和町、玉城町、度会町

(1) 分担金の推移 (伊勢市分)

区分	2年度	3年度	4年度	5年度
クリーンセンター	千円 157,652	千円 179,505	千円 175,632	千円 202,961
斎場	54,241	59,597	49,054	63,231

(2) 分担金内訳 (伊勢市分)

区分	クリーンセンター	斎場	計	備考
共通経費	千円 2,477	千円 642	千円 3,119	平等割 10% 加入事務数割 90%
運営経費	200,484	52,001	252,485	実績割 100%
建設経費	0	10,588	10,588	平等割 10%、人口割 90%
公債費	0	0	0	元利補給金
計	202,961	63,231	266,192	—

(3) クリーンセンター処理実績

区分	2年度	3年度	4年度	5年度
総処理量 (伊勢市・玉城町・度会町分)	kg 43,271,790	kg 42,187,660	kg 40,917,670	kg 38,736,200
内 伊勢市分	36,247,220	35,202,540	34,222,700	31,918,650

(4) クリーンセンター処理状況

市内のし尿等の収集運搬について、し尿収集運搬業・浄化槽清掃業許可業者数8社による許可車両35台（本許可車両25台、予備車両10台）で対応した。

月分	処理量(伊勢市・玉城町・度会町分)			
	内 伊勢市分	し尿	浄化槽汚泥	
	kg	kg	kg	kg
4	2,993,340	2,499,740	398,480	2,101,260
5	3,213,590	2,554,230	353,830	2,200,400
6	3,392,400	2,761,740	419,100	2,342,640
7	3,236,700	2,655,780	401,980	2,253,800
8	2,869,800	2,205,230	386,340	1,818,890
9	3,198,990	2,589,090	372,880	2,216,210
10	3,209,430	2,701,280	378,010	2,323,270
11	2,989,980	2,492,410	362,310	2,130,100
12	3,503,500	2,874,130	469,440	2,404,690
1	2,972,400	2,479,960	309,490	2,170,470
2	3,260,960	2,777,030	391,400	2,385,630
3	3,895,110	3,328,030	376,960	2,951,070
計	38,736,200	31,918,650	4,620,220	27,298,430

(5) 斎場利用実績

区分	2年度	3年度	4年度	5年度
総利用数 (伊勢市・明和町・玉城町・度会町・管外)	件 2,167	件 2,276	件 2,496	件 2,483
内 伊勢市分	1,550	1,633	1,774	1,768

※胞衣汚物及び霊安室利用を除く。

(6) 斎場利用状況

区分	明和町・玉城町・度会町	管外	伊勢市	計
12歳以上の者	件 579	件 132	件 1,752	件 2,463
12歳未満の者	0	0	8	8
死産児	3	1	8	12
計	582	133	1,768	2,483
胞衣汚物	22件			
霊安室利用	13件			

○ 生物多様性保全活動の推進

市内においてもブラックバスやミドリガメ、アライグマ等の外来生物が多く見られるようになり、外来種が在来種の生息に悪影響を及ぼしていることを認識し対策を進める必要がある。生物多様性保全活動の一環として動植物の生息・育成状況の把握に努めるとともに在来種の保護を行う活動、啓発活動を実施した。

実施時期	実施事業名	概要
5. 4. 18 5. 5. 23 5. 6. 20 5. 7. 25 5. 8. 22 5. 9. 20 5.10. 17 5.11. 14 5.12. 13 6. 1. 23 6. 2. 23 6. 3. 19	いきもの調査	市内の動植物の生息状況を把握することを目的として、採集、写真撮影により種の同定を行い、活動記録をホームページに掲載した。

※生物多様性…多様な生き物が多様な環境に豊かに生息している状態

ごみ減量課

○ ごみ減量推進関係

1 「伊勢市ごみ処理基本計画」の推進

(1) 伊勢市廃棄物減量等推進審議会を開催

ごみの排出状況の報告及びごみ減量・資源化に向けた施策の取り組みについて審議を行い、意見をもらった。

【廃棄物減量等推進審議会】

伊勢市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例第8条の規定に基づき設置

構成：学識経験者（2名）、市民（2名）、事業者等（2名）、地域住民組織（3名）、再生資源事業者（1名）、関係行政機関（2名）

2 ごみの適正処理

(1) ごみ排出量及び処理経費

ごみの減量・資源化のための分別収集を推進した結果、過去5年間のごみ排出量及び処理経費の推移は次のとおりであった。

ア ごみ排出量の推移

種別	元年度	2年度	対前年度増減	3年度	対前年度増減	4年度	対前年度増減	5年度	対前年度増減
燃えるごみ	41,506 t	39,709 t	△4.3 %	39,701 t	△0.0 %	39,231 t	△1.2 %	37,894 t	△3.4 %
粗大ごみ	1,358	1,398	2.9	1,417	1.4	1,225	△13.5	1,249	△2.0
小計	42,864	41,107	△4.1	41,118	0.0	40,456	△1.6	39,143	△3.2
資源物	5,844	6,145	5.2	6,040	△1.7	5,680	△6.0	5,407	△4.8
缶・金属類	911	1,000	9.8	903	△9.7	824	△8.7	815	△1.1
投棄場搬入量	576	166	△71.2	160	△3.6	148	△7.5	159	7.4
合計	50,195	48,418	△3.5	48,221	△0.4	47,108	△2.3	45,524	△3.4

※対前年度増減(%) = (当該年度 - 前年度) / 前年度 × 100

※資源物は、小型家電製品の収集量を含む。

イ ごみの各平均排出量

区分	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
各年度末人口 (人)	125,043	123,853	122,580	121,222	119,706
各年度末世帯数 (世帯)	55,615	55,808	55,905	56,086	56,245
総ごみ排出量 (t)	50,195	48,418	48,221	47,108	45,524
1日平均排出量 (t/日)	137.14	132.65	132.11	129.06	124.72
1日1人平均排出量 (g/人・日)	1,096.78	1,071.04	1,077.76	1,064.68	1,041.91
1日1世帯平均排出量 (g/世帯・日)	2,465.97	2,376.94	2,363.16	2,301.16	2,217.50

※各年度末人口・世帯数は町別統計（住民基本台帳）を引用

ウ 処理経費の推移

区 分	元年度	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度
処理経費	円 2,078,856,563	円 2,105,407,920	円 2,108,353,271	円 2,117,209,702	円 2,046,752,945
ごみ1t当りの 処理経費	41,416	43,484	43,723	44,944	44,960
1人当りの 処理経費	16,625	16,999	17,200	17,466	17,098
1世帯当りの 処理経費	37,379	37,726	37,713	37,749	36,390

※処理経費は、毎年度環境省が実施している一般廃棄物処理事業実態調査で報告した数値（人件費、収集運搬・最終処分等に係る処理費、車両等購入費、ごみ処理委託料、組合分担金、各種委員会経費・補助金等に係るその他の経費を合算したもの。）

(2) 資源物の資源化

市内に設置した資源ステーションや資源拠点ステーション等で資源物の分別収集を行い、伊勢広域環境組合清掃工場等の中間処理施設へ搬入し、ごみの資源化を図った。

また、廃棄物投棄場に搬入されたガレキ類についても中間処理施設の民間業者へ搬入し、ごみの資源化を図った。

なお、過去3年間の委託・売却量、その他の推移は、次のとおりであった。

ア 資源びんの委託量等の推移

区 分	3 年度		4 年度		5 年度	
	委託量	委託料	委託量	委託料	委託量	委託料
無色	kg 368,960	円 74,677	kg 345,700	円 77,575	kg 342,990	円 90,549
茶色	268,110	264,150	264,070	250,972	258,520	279,822
その他の色	159,110	214,400	147,180	305,663	138,720	196,538
計	796,180	553,227	756,950	634,210	740,230	566,909

イ その他資源物の委託量等の推移

区 分	3 年度		4 年度		5 年度	
	委託量	委託料	委託量	委託料	委託量	委託料
プラスチック類	kg 935,370	円 524,742	kg 900,710	円 525,113	kg 907,610	円 4,733,011
ガラス・くずびん類	203,830	5,156,899	186,310	4,713,643	190,590	5,031,576
陶磁器類	313,340	12,063,590	283,100	10,899,350	293,150	11,608,740
乾電池	47,000	4,599,540	46,140	4,567,860	45,870	4,692,501
蛍光管	21,000	2,161,599	16,130	1,667,842	15,930	1,664,685
ガレキ類	165,850	575,762	88,270	316,481	97,600	263,384

※プラスチック類の3年度、4年度はプラスチック製容器包装のみ。5年度は、プラスチック製容器包装とプラスチック製品の合算を計上。

ウ 紙類・布類の売却量等の推移

種 別	3 年度		4 年度		5 年度		
	売却量	売却額	売却量	売却額	売却量	売却額	
新聞・折込チラシ	kg 545,700	円 2,728,500	kg 468,610	円 2,495,802	kg 413,130	円	
雑誌・雑紙類	972,920	1,914,661	909,980	2,132,680	832,870		
段ボール	800,410	2,716,622	772,450	3,089,800	739,290		
飲料用紙パック	200ml 以外	24,540	77,178	23,200	75,655		22,200
	200ml	0	0	0	0		0
布・衣類	215,190	21,519	171,870	17,187	165,050		5,257,260
計	2,558,760	7,458,480	2,346,110	7,811,124	2,172,540	5,257,260	

※「雑誌・雑紙類」はシュレッダーを含む

エ ペットボトルの売却量等の推移

区 分	3 年度		4 年度		5 年度	
	4月～9月	10月～3月	4月～9月	10月～3月	4月～9月	10月～3月
売却量 (kg)	—	145,990	187,160	141,090	180,930	144,050
売却額 (円)	—	1,781,644	8,085,336	13,371,138	7,931,567	4,150,256
委託量 (kg)	179,290	—	—	—	—	—
委託料 (円)	2,876,610	—	—	—	—	—

オ 資源化率の推移

年 度	3 年度	4 年度	5 年度
資源化率	23.6%	22.4%	21.9%
【参考】清掃工場焼却処理残渣【焼却灰】を含まない	15.4%	15.4%	15.1%

※資源化率＝（再生資源回収団体の資源回収量＋市の資源回収量＋清掃工場焼却処理残渣【焼却灰】）／（再生資源回収団体の資源回収量＋ごみ総排出量）×100

(3) 調査事業

ア 燃えるごみの組成調査

市民が排出する燃えるごみの調査を行い、資源物の混入など分別の状況を把握した。

実施日 令和5年11月9日及び10日

分別状況

品 目	割 合	品 目	割 合
生ごみ	% 37.2	布・衣類	% 6.4
燃えるごみ	31.6	プラスチック製容器包装	6.9
雑誌・雑紙類	9.2	プラスチック製品	2.1
新聞・折込チラシ	1.8	ペットボトル	0.1
飲料用紙パック	0.9	缶・金属類	0.3
禁忌品	0.5	その他	1.1
段ボール	1.9		

イ プラスチック類の組成調査

プラスチック製品の分別回収を先行実施し、排出状況等について検証した。

実施日 令和5年5月から令和6年3月まで 月2回実施

回収プラスチックの内訳	プラスチック全体に占める割合 (%)
①プラスチック製容器包装	94.2
②プラスチック製品	4.4
③不適物	1.4
④プラスチック全体 (①+②+③)	100.0

3 3Rの推進

(1) 食品ロス削減に関する取組

ア 事業者及び高等学校との連携

市内でスーパーマーケットを展開している事業者8社及び三重県、市民団体で構成される「減らそに！いせの食品ロス協議会」において、賞味期限・消費期限の近くなった食品の廃棄を低減させる「2023 すぐ食べるならつれてって！キャンペーン」（10月1日から31日までの1か月間）を宇治山田商業高等学校との連携により実施し、1,962名分の食品ロス削減につながった。

イ 全国おいしい食べきりネットワーク協議会への参画

全国445の自治体からなる協議会に参画しており、先進的な取組・施策の情報発信および情報収集に努めた。

ウ フードドライブの取組

伊勢市社会福祉協議会と株式会社ファミリーマートと連携して、家庭にある余剰の食品を市内13か所のファミリーマート提携店舗へ持ち込んでもらい、支援の必要な方へ届ける「ファミマフードドライブ」に取り組み、278kgの食品の回収を行った。

エ 食品ロス削減マッチングサービス「タベスケ」

「減らそに！いせの食品ロス協議会」と連携し、市内店舗（協力店）の賞味・消費期限が近い食品や商品をWEB上に掲載し、市民（ユーザー）とのマッチングを行う食品ロス削減マッチングサービス「もったいないやん!!～いせ×タベスケ～」を令和5年2月1日から開始した。協力店舗19店舗、ユーザー数801名の登録があり、タベスケにより、23.2kgの食品ロス削減につながった（令和6年3月末時点）。

(2) 雑がみ類の資源化に関する取組

ア 雑がみチャレンジの実施

市内の小学4年生を対象に、夏休みの期間を利用して雑がみの分別に挑戦する「雑がみチャレンジ」を実施した。市内の小学校11校がこの取組に参加し、児童459名が合計1,453kgを分別・資源化した。

イ 紙類の再資源化への取組

これまで資源化できなかった紙類の資源化を推進するため、「トイレの紙さまプロジェクト」を実施し、令和5年度は新たに3事業所の参加があり、36,342kgの回収を行った。

(3) 生ごみに関する取組

ア ごみゼロチャレンジの実施

市内の小学5年生を対象に、夏休みの期間を利用してごみの減量に挑戦する「ごみゼロ

チャレンジ」を実施した。市内の小学校5校がこの取り組みに参加し、児童140名が生ごみの水切りに取り組んだ。

イ 消滅型生ごみ処理機「ミニ・キエーロ」のモニター募集

家庭から出る生ごみの減量を図るため、市販のプランターを活用し作成したミニ・キエーロのモニター募集を行い、50名が参加し、生ごみの減量に取り組んだ。

ウ イベントでの啓発

環境フェア、高柳の夜店などの各種イベントにおいて、動画の放映やチラシの配布、生ごみ処理機の展示・実演による啓発を行った。

(4) マイボトル・マイカップ運動

ペットボトルやプラスチック製カップなど使い捨てプラスチックごみの発生抑制を推進していくため、マイボトル・マイカップ運動を展開し、企業訪問やホームページでの取り組みの紹介により、令和5年度はマイボトル推進事業者として3事業所の登録を得た。

(5) ごみ減量化容器設置補助金事業

ア 生ごみの自家処理を促進し、ごみの減量化を図ることを目的に、ごみ減量化容器を購入及び設置した市民・事業者に対し補助金を交付した。

年 度	交付申請件数	補助金交付基数	補助金交付額
3年度	件 62	基 62	円 1,144,000
4年度	61	61	1,126,000
5年度	85	85	1,688,000

イ 事業所用

令和5年度交付実績なし

(6) 再生資源回収事業奨励金

ごみの減量化を促進し、資源の再生化を図るとともに、ごみに対する市民の意識を高めることを目的に、自治会・PTA等再生資源の回収事業を行う団体に対し、奨励金を交付した。

年度	登録団体数	交付団体数	回 収 量					奨励金交付額
			紙 類	布 類	金 属 缶 類	計	びん	
3年度	団体 157	団体 127	kg 1,112,067	kg 30,715	kg 36,714	kg 1,179,496	本 76	円 3,538,630
4年度	156	129	1,115,187	25,850	29,515	1,170,552	161	3,512,040
5年度	149	125	1,014,083	22,845	26,367	1,063,295	169	3,190,270

※1kg当たり3円、リターナブルびんについては1本当たり3円の奨励金を交付した。

(7) 廃食用油回収事業

地球温暖化防止と循環型社会の形成のため、ごみの減量化、資源化の推進事業として、市内全域を対象に廃食用油を回収し、再生利用を行った。

ア 廃食用油回収容器設置場所 計77か所

※資源拠点ステーション、小・中学校、中学校給食共同調理場その他の公共施設

イ 回収状況

年 度	3 年度	4 年度	5 年度
廃食用油回収量	0 21,960	0 18,205	0 22,965

(8) ペットボトルキャップの回収

ペットボトルのキャップをプラスチック製容器包装として分別回収しているが、市民がペットボトルキャップ回収・寄附活動運動に協力していただけるよう、市内の資源拠点ステーションや各総合支所生活福祉課等にペットボトルキャップ回収容器を設置した。

ア 回収状況

年 度	重 さ	個数(約)	ポリオワクチン
3年度	kg 12,019.0	個 5,168,170	人分 6,009.5
4年度	12,676.0	5,450,680	6,338.0
5年度	11,559.0	4,970,370	5,778.0

4 排出環境整備

(1) 廃棄物集積所設置補助事業

燃えるごみの排出場所の集積化を促進することで、ごみ収集の効率化を図るとともに、ごみの散乱防止、市民の美化意識の高揚及び良好な生活環境を確保することを目的として、燃えるごみ集積所を設置した自治会等に対し補助金を交付した。

ア 交付状況

年 度	交付申請件数	補助金交付基数	補助金交付額
3年度	件 29	基 90	円 9,322,250
4年度	15	35	5,817,928
5年度	16	51	6,168,583

※利用世帯数に応じて補助金限度額の設定をして実施した。

(2) 廃棄物投棄場管理事業

ア 搬入状況

市民自己搬入分と公共関係搬入分として下記の搬入状況となった。

区 分	伊 勢			小 俣			計		
	車数	搬入量	手数料収入	車数	搬入量	手数料収入	車数	搬入量	手数料収入
市民自己搬入分	車 201	kg 70,718	円 146,730	車 139	kg 79,560	円 110,710	車 340	kg 150,278	円 257,440
公共関係搬入分	1	74	-	2	8,360	-	3	8,434	-
計	202	70,792	146,730	141	87,920	110,710	343	158,712	257,440

イ 委託関係

埋立廃棄物の減量・資源化を推進し、廃棄物投棄場を適正管理するため、搬入されたガ

レキ類等（ガレキ類、アスファルト類、瓦類、陶器類、レンガ、石類）の再資源化を行った。また、廃棄物投棄場の地下水等の水質調査を行った。

施行場所	委託名	委託概要	金額	着手	完了
伊勢市内 地	ガレキ類等再資源化業務委託	引取量 ガレキ類 81.84 t 瓦類 15.05 t レンガ 0.71 t	円 263,384 【単価契約】 ◇ガレキ類 1,000 円/ t (税抜) ◇瓦類 10,000 円/ t (税抜) ◇レンガ 10,000 円/ t (税抜)	5. 7. 26	6. 3. 31
〃	伊勢廃棄物投棄場ほか地下水等水質調査	伊勢廃棄物投棄場 2 か所 御菌廃棄物投棄場 2 か所 二見廃棄物投棄場 2 か所 小俣廃棄物投棄場 4 か所	1,738,000	5. 7. 26	5. 12. 6
計	2 件	—	2,001,384	—	—

※合計は、各行の最上段を合算

ウ 工事関係

小俣廃棄物投棄場を適正に維持管理するため、設備の予防対策を行った。

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
小俣町新村 地内	(注1) 小俣廃棄物投棄場浸出水処理施設制御盤 PLC 更新工事	PLC 更新 4 組	円 0 【契約額】 5,500,000 [令和5年度] 0 [令和6年度] 5,500,000	5. 9. 1	6. 6. 7
〃	(注2) 小俣廃棄物投棄場浸出水処理施設原水ポンプほか更新工事	ろ過原水ポンプ更新 2台 逆洗ポンプ更新 2台 No.1原水ポンプ更新 1台	1,540,000	5. 12. 18	6. 3. 22
計	2 件	—	1,540,000	—	—

(注1) 維持課施行、令和6年度へ繰越

(注2) 維持課施行

5 啓発・教育の推進

(1) 啓発事業

ア 広報いせ及びケーブルテレビ「伊勢市行政チャンネル」による啓発

広報いせにおいて、ごみの適正分別・適正排出や不法投棄防止などの内容を掲載し、ご

みの減量・分別の啓発に努めた。

また、ケーブルテレビ行政放送では、生ごみの減量の特集について動画を作成し、YouTubeで配信を行った。

イ キャラクターを使った啓発

皇學館大学の学生と協働で作成した「ごみ分別PRキャラクター（かもしかのごみバスターズ）」を幼稚園・保育園への環境出前講座や路上喫煙の街頭啓発、環境フェア、食品ロス削減キャンペーン、スポGOMI大会、みそのふれあいまつり等のイベントに出演させ、ごみ減量・資源化の啓発に努めた。

ウ LINE アプリを利用したごみ分別チャットボットの導入

伊勢市公式LINEアカウントにおいて、AIチャットボット機能を利用して、ごみの品名ごとの分別方法など、問い合わせが多い項目について、自動で回答するサービスを提供している。

また、有料粗大ごみ収集のLINE申込を令和5年7月1日から開始した。

なお、27,701人が登録、利用している。（令和6年3月末時点）。

エ Facebook および Instagram による情報配信

かもしかのごみバスターズ（ごみ減量課）のFacebook及びInstagramにより、ごみの減量に関する情報や、ごみ減量課の取組、かもしかのごみバスターズが参加するイベント情報などを配信している。フォロワー数は139人（令和6年3月末時点）。

オ ワークショップの開催

ごみの減量を図るため、生ごみの減量や食品ロス削減等におけるワークショップを6回開催した。

カ スポGOMIの実施

「スポーツ」と「ごみ拾い」を融合した社会貢献型の新しいスポーツである「スポGOMIワールドカップ2023 三重 STAGE in 伊勢」を、幅広い世代の人たちが「ごみの減量」「身近な環境問題」について考え、関心をもってもらう目的で令和5年6月17日に二見町神前地区海岸にて実施した。（参加者29組87人）

(2) 廃棄物減量等推進員の配置

市と市民をつなぐパイプ役として、また地域のリーダーとして54自治会より推薦された87名を廃棄物減量等推進員として委嘱し、ごみ減量、リサイクルの普及・啓発、ごみの分別・出し方の指導等の役割を依頼した。

(3) ごみの分別等についての説明会の実施

希望する学校・団体を対象に伊勢市のごみの現状及びごみの分け方・出し方について、説明会を実施した。（説明会開催回数 延べ35回、参加人員 延べ837人）

また、プラスチック製品の分別回収を、令和6年4月から全市で実施するため、市内各自治会に対し、適正分別・適正排出に向けた説明会等を実施した。

(4) 伊勢市環境会議（ごみ関係）

ごみの減量化・資源化の推進を目的とした以下の事業に取り組んだ。

実施期間	実施事業名	概要	備考
5. 5. 20	G7三重・伊勢志摩交通大臣会合 クリーンアップ活動「ごみゼロ早朝清掃」	5月30日の「ごみゼロの日」にちなんで市民一人ひとりがごみ問題に対する意識を高め、ごみゼロ活動を実践するきっかけとするため実施した。	参加者 約 200 人 燃えるごみ 110kg その他のごみ 14kg
5. 7～5. 9	MOTTAINAI（もったいない）ポスターコンクール～「食品ロス」をなくそう！ごみをへらそう！～	物や食べ物を捨てる前に“もったいない”と思う気持ちを持ち、ごみに出す前にもう一度考える行動ができるよう、子どもたちから広く市民にメッセージを発信してもらうため、市内小中学校へ「食品ロス削減」などをテーマに作品募集を行い、環境フェアにおいて受賞者への表彰式を開催した。	受賞者 計 51 人 (応募作品数 394 作品)
5. 6～6. 3	環境出前講座（園児対象）	環境に関する紙芝居、ごみの分別体験や着ぐるみとのふれあいなどを環境出前講座として、市内の保育園・幼稚園で実施した。	実績 23 回

6 路上喫煙対策

〈路上喫煙パトロール等〉

令和2年8月1日から開始となった「路上喫煙禁止区域」について、伊勢市駅・宇治山田駅前周辺エリアと内宮周辺エリアにて、禁止区域内での喫煙者への指導、たばこ等ポイ捨ての清掃、周辺店舗等への聞き取り、案内用の看板等の状況確認等を行うために、定期的にパトロールを実施した。また、令和5年7月29日には喫煙禁止区域で街頭啓発及びアンケート調査を実施した。

【実績】

・たばこポイ捨て本数 区域内 462 本、区域外 978 本

〈路上喫煙対策審議会〉

伊勢市路上喫煙対策審議会を開催し、現況の報告、路上喫煙禁止区域の課題等について、審議を行い、意見をもらった。

構成：学識経験者（1名）、公共的団体の代表者（1名）、関係団体の代表者（3名）、関係行政機関の職員（1名）

7 不法投棄防止対策事業

(1) 防止対策

収集作業時におけるパトロールの実施や自治会からの要望等に基づき看板を設置するなど不法投棄の未然防止に努めた。

(2) 通報への対応

通報を受けた場所が公共用地の場合は、投棄物を調査し、投棄者の特定を行っている。投

棄者を特定できれば警察と連携して撤去を要請し、投棄者が不明の場合は看板で啓発し、一定期間を経て、更なる不法投棄を招かないように投棄物を回収した。

なお、投棄場所が私有地の場合、所有者に連絡して対応を求めた。

ア 主な不法投棄物の回収状況

年 度	テレビ	冷蔵庫 冷凍庫	洗濯機 衣類乾燥機	エアコン	タイヤ	消火器	ガ ス ボンベ	業 務 用 冷蔵庫等
3年度	台 51	台 1	台 8	台 5	本 100	本 69	本 6	台 2
4年度	107	13	6	6	24	101	3	3
5年度	61	8	5	4	102	59	12	21

8 広告収入の推進

新たな財源の確保及び事業経費の削減を図るため、ごみカレンダー及びごみ分別ガイドブックにおいて広告主の募集を行い、企業広告を掲載した。また、資源拠点ステーションにおいて、企業広告の募集を行った。

広 告 媒 体	広告掲載数	延べ 応募事業者数	収 入 額
ごみカレンダー	枠 16	25	円 480,000
ごみ分別ガイドブック	13	2	270,000
資源拠点ステーション	24	2	-

○ 一般廃棄物収集関係

市内の一般廃棄物（燃えるごみ、粗大ごみ、資源物及び小動物の死体）を車両 22 台、収集人員 30 名の体制（一部民間委託）で収集を行った。収集した一般廃棄物については、伊勢市、玉城町、明和町、度会町の 4 市町で構成する伊勢広域環境組合、古紙業者及び民間業者へ搬入し処理を行った。

また、ハッピーマンデー（4日）、年末（1日）について臨時収集を行った。

1 収集体制

（1）収集車両

一般廃棄物（公共施設の燃えるごみ、資源物、粗大ごみ及び小動物の死体）の収集を 22 台の車両で行った。

所管している車両

単位：台

4 t プレス	3 t パッカー	2 t パッカー	2 t プレス	2 t ダンプ
1	2	3	2	5
2 t パワーリフト	2 tトラック	軽四ダンプ	軽四トラック	計
2	2	4	1	22

(2) 収集人員

一般廃棄物の収集を職員 30 名の人員で行った。

(3) 委託関係

資源物回収袋の洗浄及び補修業務を伊勢市シルバー人材センター、町内一斉粗大ごみ収集運搬業務、旧伊勢市地区の資源びん、紙・布類、プラスチック製容器包装、ペットボトル、二見町地区の缶・金属類を除く資源物、御菌町地区の燃えるごみ及び資源物、小俣町地区の缶・金属類を除く資源物の収集運搬業務を一般競争入札により民間業者に委託した。

また、旧伊勢市地区の燃えるごみ、ガラス・くずびん類及び陶磁器類、二見町地区の燃えるごみ及び缶・金属類、小俣町地区の燃えるごみ及び缶・金属類の収集運搬業務を、下水道の整備等に伴う一般廃棄物処理業等の合理化に関する特別措置法により定めた各地区の合理化事業計画（旧伊勢市地区、小俣町地区）に基づき、旧伊勢市地区の 4 業者、小俣町地区の 2 業者に委託した。

施行場所	委託名	委託概要	金額	着手	完了
伊勢市内	資源物回収袋洗浄等業務委託	回収袋の洗浄及び補修業務委託一式	円 12,889,970 【単価契約】 991～1,337 円/人 事務費 9%	5. 4. 1	6. 3. 31
〃	町内一斉粗大ごみ収集運搬（その 1）業務委託	町内一斉粗大ごみ収集運搬業務委託（可燃系粗大ごみ）一式	13,731,201 【単価契約】 324,000 円/日（税抜） 12 t 超えた収集運搬単価 27,000 円/ t	5. 4. 1	6. 3. 31
〃	町内一斉粗大ごみ収集運搬（その 2）業務委託	町内一斉粗大ごみ収集運搬業務委託（非圧縮粗大ごみ）一式	4,727,733 【単価契約】 109,800 円/日（税抜） 3 t 超えた収集運搬単価 36,600 円/ t	5. 4. 1	6. 3. 31
〃	町内一斉粗大ごみ収集運搬（その 3）業務委託	町内一斉粗大ごみ収集運搬業務委託（金属混成粗大ごみ）一式	4,363,700 【単価契約】 100,000 円/日（税抜） 4 t 超えた収集運搬単価 25,000 円/ t	5. 4. 1	6. 3. 31
〃	町内一斉粗大ごみ収集運搬（その 4）業務委託	町内一斉粗大ごみ収集運搬業務委託（自転車）一式	4,944,654 【単価契約】 117,000 円/日（税抜） 100 台超えた収集運搬単価 1,170 円/台	5. 4. 1	6. 3. 31

伊勢市内 (旧伊勢市地区)	一般廃棄物収集運搬 (その1) 業務委託	一般廃棄物収集運搬業務 委託(燃えるごみ) 一式	円 54,329,000	5. 4. 1	6. 3. 31
〃	一般廃棄物収集運搬 (その2) 業務委託	一般廃棄物収集運搬業務 委託(燃えるごみ) 一式	29,040,000	5. 4. 1	6. 3. 31
伊勢市内 (旧伊勢市地区及び二見町地区)	一般廃棄物収集運搬 (その3) 業務委託	一般廃棄物収集運搬業務 委託(燃えるごみ、缶・金属類) 一式	100,540,000	5. 4. 1	6. 3. 31
小俣町内 地	一般廃棄物収集運搬 (その4) 業務委託	一般廃棄物収集運搬業務 委託(燃えるごみ、缶・金属類) 一式	48,840,000	5. 4. 1	6. 3. 31
伊勢市内 (旧伊勢市地区)	一般廃棄物収集運搬 (その7) 業務委託	一般廃棄物収集運搬業務 委託(燃えるごみ、ガラス・くずびん類、陶磁器類) 一式	54,450,000	5. 4. 1	6. 3. 31
小俣町内 地	一般廃棄物収集運搬 (その8) 業務委託	一般廃棄物収集運搬業務 委託(燃えるごみ、缶・金属類) 一式	14,124,000	5. 4. 1	6. 3. 31
二見町内 地	一般廃棄物収集運搬 業務委託(缶・金属類を除く資源物)(二見町地区)	一般廃棄物収集運搬業務 委託(缶・金属類を除く資源物) 一式	14,652,000	5. 4. 1	6. 3. 31
伊勢市内 (旧伊勢市地区)	一般廃棄物収集運搬 業務委託(資源びん) (旧伊勢市地区)	一般廃棄物収集運搬業務 委託(資源びん) 一式	35,556,000	5. 4. 1	6. 3. 31
〃	一般廃棄物収集運搬 業務委託(紙・布類) (旧伊勢市地区)	一般廃棄物収集運搬業務 委託(紙・布類) 一式	45,096,000	5. 4. 1	6. 3. 31
〃	一般廃棄物収集運搬 業務委託(プラスチック製容器包装)(旧伊勢市地区)	一般廃棄物収集運搬業務 委託(プラスチック製容器包装) 一式	87,996,000	5. 4. 1	6. 3. 31
〃	一般廃棄物収集運搬 業務委託(ペットボトル)(旧伊勢市地区)	一般廃棄物収集運搬業務 委託(ペットボトル) 一式	31,524,000	5. 4. 1	6. 3. 31

御 菌 町 内 地	一般廃棄物収集運搬業務委託（御菌町地区）	一般廃棄物収集運搬業務委託（燃えるごみ、缶・金属類、資源びん、紙・布類、プラスチック製容器包装、ペットボトル、ガラス・くずびん類、陶磁器類）一式	円 27,864,000	5. 4. 1	6. 3.31
小 俣 町 内 地	一般廃棄物収集運搬業務委託（缶・金属類を除く資源物）（小俣町地区）	一般廃棄物収集運搬業務委託（資源びん、紙・布類、プラスチック製容器包装、ペットボトル、ガラス・くずびん類、陶磁器類）一式	20,869,000	5. 4. 1	6. 3.31
計	18 件	—	605,537,258	—	—

※合計は、各行の最上段を合算

2 燃えるごみの収集状況

燃えるごみの収集については、市内全域を2地区（月・木曜日地区、火・金曜日地区）に分け、各地区において週2回収集を業務委託により行った。有料収集については、戸別に粗大ごみの収集を行った。町内一斉粗大ごみ収集については、市内各自治会（区）の要請により自治会毎に年1回、業務委託により収集を行った。

早朝清掃、ボランティア清掃等に伴い発生するごみについては、随時収集を行った。

3 資源物の収集状況

缶・金属類、資源びん、紙・布類（新聞・折込チラシ、雑誌・雑紙類、段ボール、飲料用紙パック、布・衣類）、ペットボトル、プラスチック製容器包装、ガラス・くずびん類、陶磁器類について、市内を22地区（旧伊勢市地区16、二見町地区2、小俣町地区2、御菌町地区2）に分け、1,004か所の資源ステーションを設置し、プラスチック製容器包装は週1回、缶・金属類、資源びん、紙・布類、ペットボトル、ガラス・くずびん類、陶磁器類は月1回収集を行った。

また、プラスチック製品については、15自治会において先行的に収集を行った。

乾電池、蛍光管については、資源拠点ステーションや市内公共施設の一部112か所で適時収集を行った。

4 資源拠点ステーションの開設状況

資源物の収集効率の向上を図るため、資源拠点ステーションを平成14年度から順次開設している。開設状況としては、令和6年3月末現在で19か所（伊勢中央・宇治・船江・城田・中島・佐八・明倫・神社・厚生・早修・北浜・宮本・沼木・大湊・いせトピア・二見・小俣・御菌及び明野）を開設し、支所での管理のほか、公益社団法人伊勢市シルバー人材センター、地元自治会等にステーションでの受付等の業務を委託した。

また、令和5年度においては、資源拠点ステーション内での不法投棄及び資源物の持ち去り等の対策として防犯カメラを設置した。

(1) 委託関係

施行場所	委託名	委託概要	金額	着手	完了
船江4丁目 地内ほか	資源拠点ステーション受付等業務委託	資源物受付及び搬入車両誘導等業務一式	円 13,014,310 【単価契約】 991~1,337 円/人日 事務費9%	5. 4. 1	6. 3. 31
宮後2丁目 地内	伊勢中央資源拠点ステーション受付等業務委託	資源物受付及び搬入車両誘導等業務一式	2,090,000	5. 4. 1	6. 3. 31
宇治浦田 2丁目 地内	宇治資源拠点ステーション受付等業務委託	資源物受付及び搬入車両誘導等業務一式	730,000	5. 4. 1	6. 3. 31
中須町 地内	城田資源拠点ステーション受付等業務委託	資源物受付及び搬入車両誘導等業務一式	730,000	5. 4. 1	6. 3. 31
二見町三津 地内	二見資源拠点ステーション受付等業務委託	資源物受付及び搬入車両誘導等業務一式	730,000	5. 4. 1	6. 3. 31
計	5件	—	17,294,310	—	—

※合計は、各行の最上段を合算

(2) 工事関係

施設の安全対策及び維持管理のため、資源ステーションの修繕を行った。

施工場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
二見町茶屋 地内	二見1-3資源ステーション移設並びにフェンス設置工事	移設並びにフェンス設置工事一式	円 356,400	5. 7. 20	5. 8. 31

5 一般廃棄物処理手数料

(1) 有料収集、小動物の死体の処理

粗大ごみ等の有料収集やペットとして飼われていた小動物の死体の収集について、手数料を徴収した。

区分	手数料	
	件数	金額
粗大ごみ等	件 1,003	円 2,528,990
小動物の死体	37	39,580
合計	1,040	2,568,570

(2) 天災等特別な事由により発生した一般廃棄物の処理

火災及び風害被災者の収集については、一般廃棄物処理手数料の免除を行った。

区分	火災被害者	風害被害者	計
件数	5	12	17

6 伊勢市ふれあい収集事業

一人暮らしで一定以上の介護認定を受けている高齢者や身体が不自由な方など、燃えるごみや資源物を自ら集積所等まで出すことが困難な家庭に対し、燃えるごみ及び資源物の戸別収集を行う、ふれあい収集事業を実施した。(収集回数 52 回、収集量 4,780kg)

利用希望者の申請をもとに、6 件の実施を決定した。

令和 6 年 3 月末現在において、25 件の収集を実施した。

○ 伊勢広域環境組合

伊勢市、玉城町、明和町、度会町の 1 市 3 町で構成する伊勢広域環境組合が、ごみの適正処理を衛生的、効率的に行えるよう負担金を支出した。また、現在のごみ処理施設においては老朽化が著しいことから、新ごみ処理施設の更新に向けて伊勢広域環境組合と連携し、取り組んでいる。

1 分担金内訳

区 分	伊 勢 市 分			備 考
	ご み	粗大ごみ	計	
共通経費	千円 5,241	千円 866	千円 6,107	平等割 10% 加入事務数割 90%
運営経費	424,130	69,925	494,055	実績割 100%
建設経費	462,957	—	462,957	平等割 10% 人口割 90%
公債費	134,755	—	134,755	元利補給金
清掃事業所負担金	4,661.1	—	4,661.1	
計	1,031,744.1	70,791	1,102,535.1	